

学童保育クラブの 育成料(利用料)に関する意識調査 報告書

2024 年 10 月

町田市子ども・子育て会議

目 次

第1章 調査の概要	5
1. 調査の目的	5
2. 調査・周知方法、調査期間	5
3. 調査対象・回収数について	5
(1) 調査対象	5
(2) 回収数	5
4. 調査結果のまとめ	6
5. 報告書を見る際の注意事項	6
 第2章 調査結果	 7
1. 属性	7
(1) 学年別の人数及び学童保育クラブの入会状況	7
(2) 学童保育クラブを利用しない理由	8
(3) 現在通っている小学校について	10
(4) 世帯の年間総収入（金額）について	11
2. 学童保育クラブの育成料（利用料）について	12
(1) 育成料（利用料）を改定する場合の考え方について	12
(2) 育成料（利用料）改定に対する考えの理由について	16
(3) 所得の低い世帯への配慮について	22
(4) 所得の低い世帯に対する減免の見直しについて	24
(5) 同一世帯2人目以降の育成料（利用料）について	28
(6) 同一世帯2人目以降の減免額の見直しについて	30
3. 児童の放課後の過ごし方について	33
4. 自由意見	36
(1) 育成料について	36
(2) 提供内容について	37
(3) 放課後・長期休みの過ごし方について	40
(4) その他	42
 資料編（調査票 Web 画面）	 43

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

学童保育クラブの育成料（利用料）について、小学生がいるご家庭の意見や考えを調査し、育成料（利用料）のあり方を検討することを目的として実施しました。

2. 調査・周知方法、調査期間

調査方法：Web アンケート

周知方法：広報まちだ（2024 年 7 月 1 日号）、まちだ子育てサイト、
学校・保護者間連絡ツール（tetoru）にて公立小学校の保護者に通知

調査期間：2024 年 7 月 3 日～7 月 17 日

3. 調査対象・回収数について

（1）調査対象

町田市内の小学生（約 2 万人）の保護者

（2）回収数

2,915 件

4. 調査結果のまとめ

◆属性（家庭の状況について）

- ・学童保育クラブを利用しない理由は、「保護者・きょうだい在家にいたるため」が45.5%でもっとも多く、次いで「留守番することができるため」が36.4%となっています。（問1-1）

◆学童保育クラブの育成料について

- ・育成料の改定について、「減額した方がよい」が51.6%でもっとも多くなっています。（問4）
- ・所得の低い世帯への配慮については、「現状の減免のままでよい」が61.0%でもっとも多くなっています。（問5）
- ・同一世帯2人目以降の育成料（利用料）については、「現状の減免のままでよい」が62.9%でもっとも多くなっています。（問6）

◆児童の放課後の過ごし方について

- ・児童の放課後の過ごし方を充実させるためには、「学童保育クラブ以外の放課後の居場所の拡充（まちとも、子どもセンター、子どもクラブなど）」が26.2%でもっとも多く、次いで「学童保育クラブのプログラムの充実（学習・遊び・交流）」が20.5%となっています。（問7）

5. 報告書を見る際の注意事項

- ・図表中の「n」（number）は、設問への回答者数を示しています。
- ・複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ・クロス表の「黒地・白文字」は全体と比較して10ポイント以上増、「グレー地・黒文字」は全体と比較して10ポイント以下減となっています。

第2章 調査結果

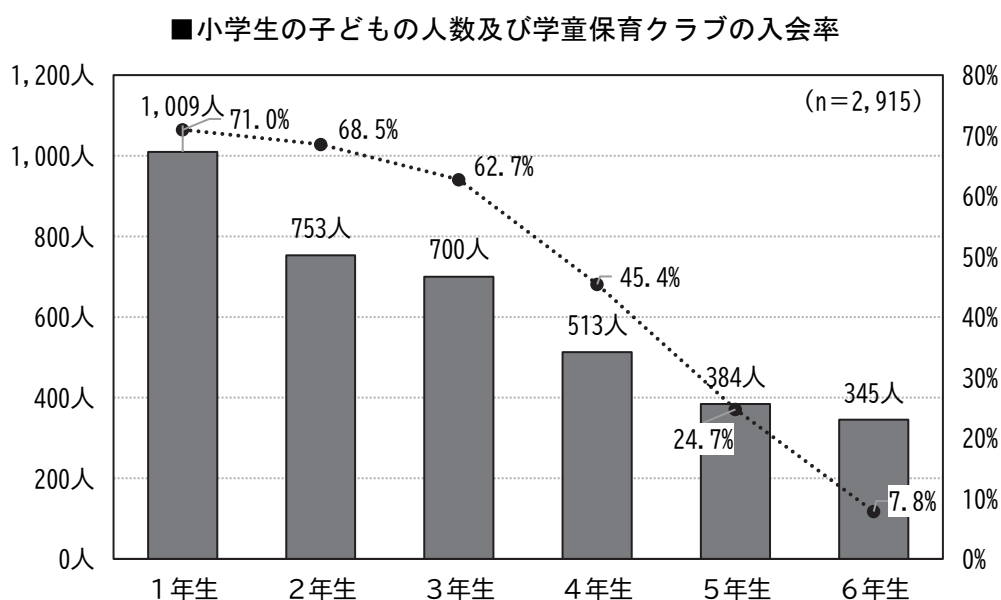
1. 属性

(1) 学年別の人数及び学童保育クラブの入会状況

問1. お子さんについて、次の学年別の人数を選択するとともに、町田市が運営する学童保育クラブに入会しているかどうか（入会していれば○）を教えてください。

アンケートに回答した世帯の学年別の人数は、「1年生」が1,009人、「2年生」が753人、「3年生」が700人、「4年生」が513人、「5年生」が384人、「6年生」が345人となっています。

また、学童保育クラブの入会率は、「1年生」が71.0%、「2年生」が68.5%、「3年生」が62.7%、「4年生」が45.4%、「5年生」が24.7%、「6年生」が7.8%となっています。



(参考)

回答者の小学生未満の子ども的人数は985人（856世帯）、中学生以上の子ども的人数は576人（468世帯）となっています。

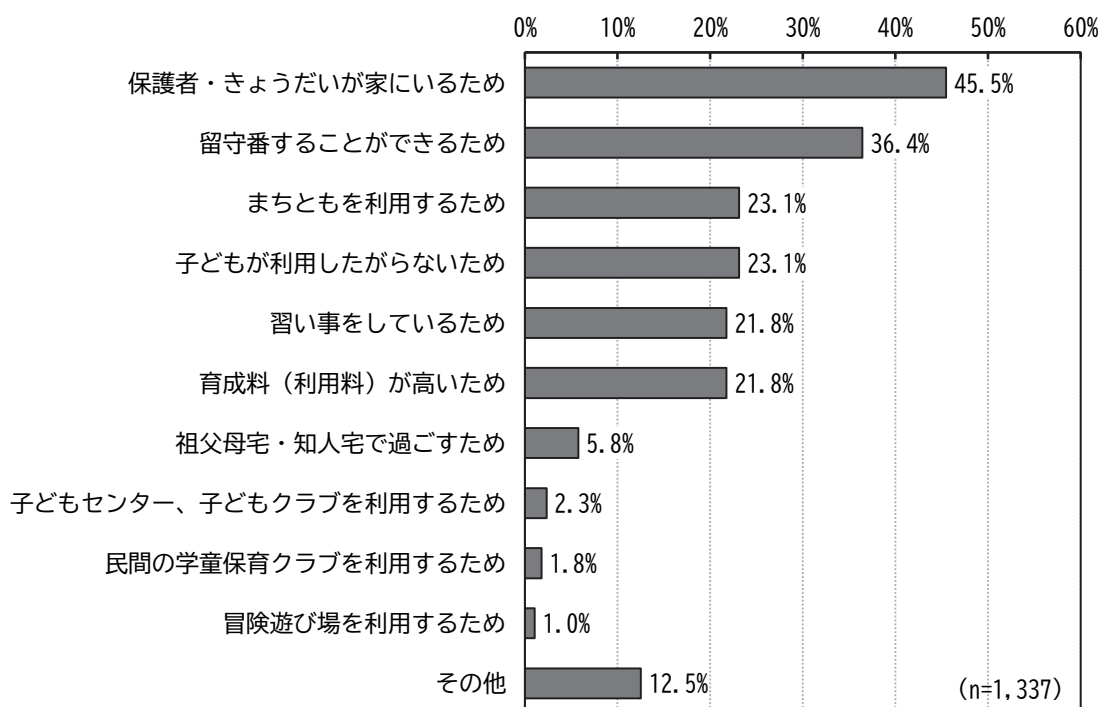
	人数の合計	世帯数
小学生未満	985	856
中学生以上	576	468

(2) 学童保育クラブを利用しない理由

問1－1. 町田市の学童保育クラブに“入会していない小学生”のお子さんがある方にお聞きします。町田市の学童保育クラブを利用しない理由を教えてください。(複数回答可)

学童保育クラブを利用しない理由については、「保護者・きょうだいがいるため」が45.5%でもっとも多く、次いで「留守番することができるため」が36.4%、「まちともを利用するため」、「子どもが利用したがないため」がともに23.1%と続いています。

■学童保育クラブを利用しない理由（複数回答）



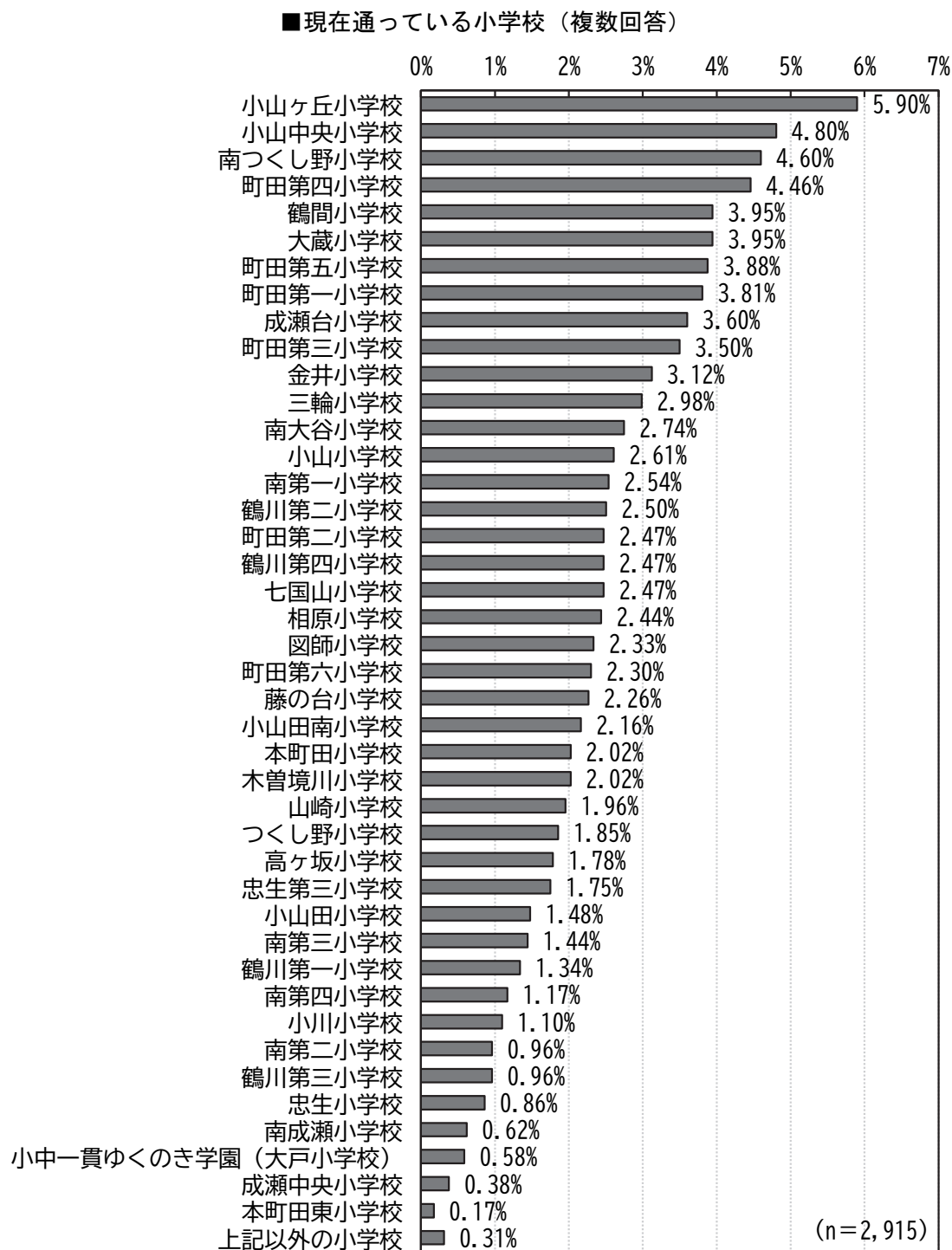
「その他」のうち、主な理由は次のとおりです。

- 入会要件を満たさない
 - 利用したいが、終業時間が規定を満たしていない。
 - 共働きでなく、利用したくても利用できない。
 - 日曜日に仕事をしていて、カウントされず、利用条件を満たさない。
- 学童クラブを必要としていない
 - 勤務時間の調整ができる。
 - 子供の帰宅前に帰れる事が多い。
 - 高学年になり、帰宅時間が遅くなり、1人で留守番する時間が短くなった。

- 利用していたがやめた
 - いじめがあり、退会した。
 - 学童の書類や準備物等の多さだったり、利用していても仕事の時間調整が必要であつたりと負担になり退会した。
 - 仕事で忙しいのに、学校の PTA のように学童でも役員や係があり、やっていたられない。
- 放課後等デイサービスを利用している
 - 障害児なので放課後等デイサービスを利用している。

(3) 現在通っている小学校について

問2. 小学生のお子さんが現在通われている小学校を教えてください。(複数回答可)



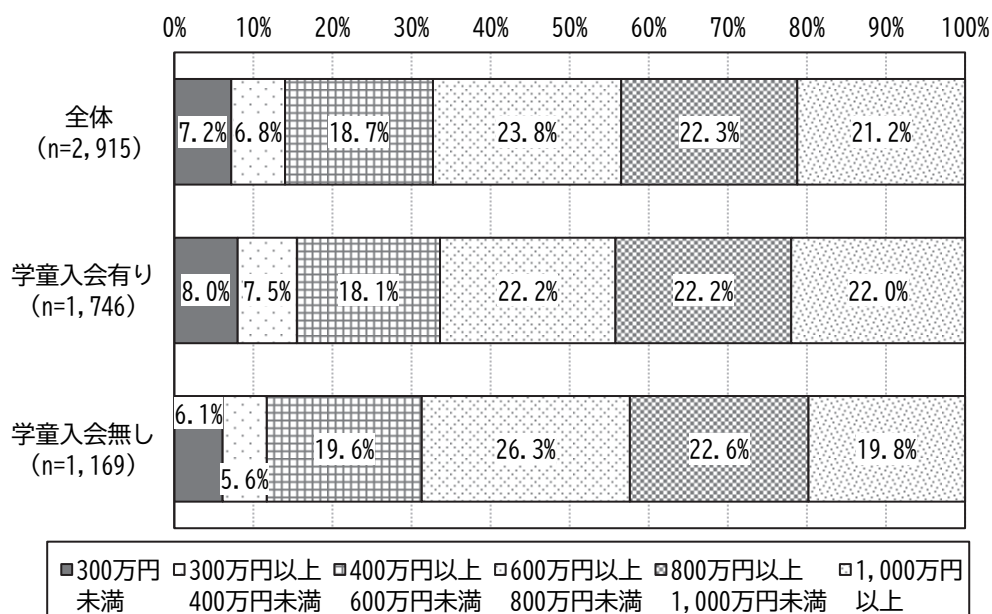
(4) 世帯の年間総収入（金額）について

問3. 世帯の年間総収入（金額）は、およそどのくらいですか。（1つ選択）

世帯の年間総収入（金額）は、「600 万円以上 800 万円未満」が 23.8%でもっとも多く、次いで「800 万円以上 1,000 万円未満」が 22.3%、「1,000 万円以上」が 21.2%と続いています。

学童保育クラブの入会有無別にみると、『学童入会有り』『学童入会無し』ともに全体と同じ傾向となっています。

■世帯の年間総収入（金額）について（学童保育クラブ入会有無別）



(上段:人数/下段:%)

	回答者数	1. 300万円 未満	2. 300万円 以上 400万円 未満	3. 400万円 以上 600万円 未満	4. 600万円 以上 800万円 未満	5. 800万円 以上 1,000万 円未満	6. 1,000万 円以上
全体	2,915 (100.0)	211 (7.2)	197 (6.8)	545 (18.7)	694 (23.8)	651 (22.3)	617 (21.2)
学童入会有り	1,746 (100.0)	139 (8.0)	132 (7.5)	316 (18.1)	387 (22.2)	387 (22.2)	385 (22.0)
学童入会無し	1,169 (100.0)	72 (6.1)	65 (5.6)	229 (19.6)	307 (26.3)	264 (22.6)	232 (19.8)

2. 学童保育クラブの育成料（利用料）について

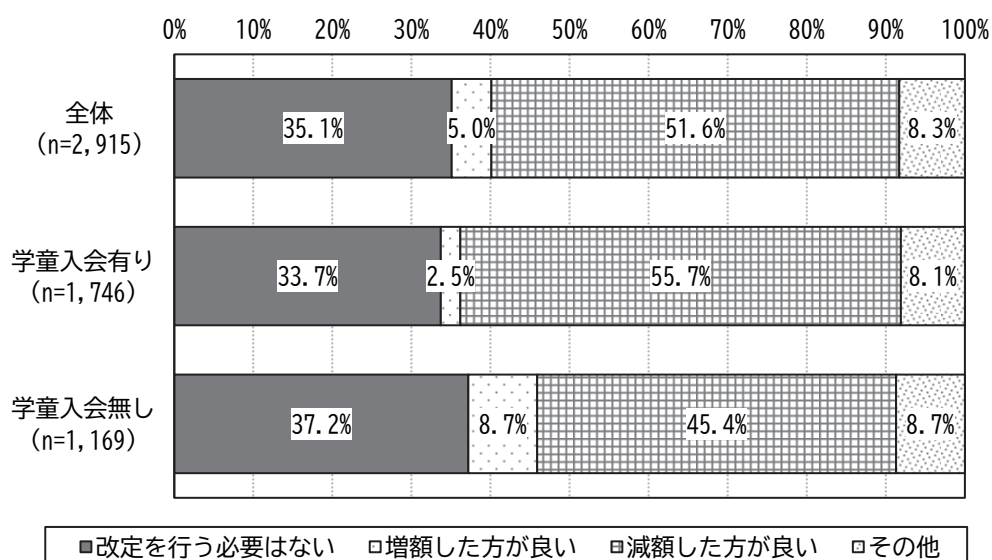
（1）育成料（利用料）を改定する場合の考え方について

問4. 育成料（利用料）について、あなたの考えにもっとも近いものをお選びください。
（1つ選択）

育成料（利用料）改定については、「減額した方が良い」が51.6%でもっとも多く、次いで「改定を行う必要はない」が35.1%となっています。

学童保育クラブの入会有無別にみると、『学童入会有り』は『学童入会無し』に比べて「減額した方が良い」の割合が多くなっています。

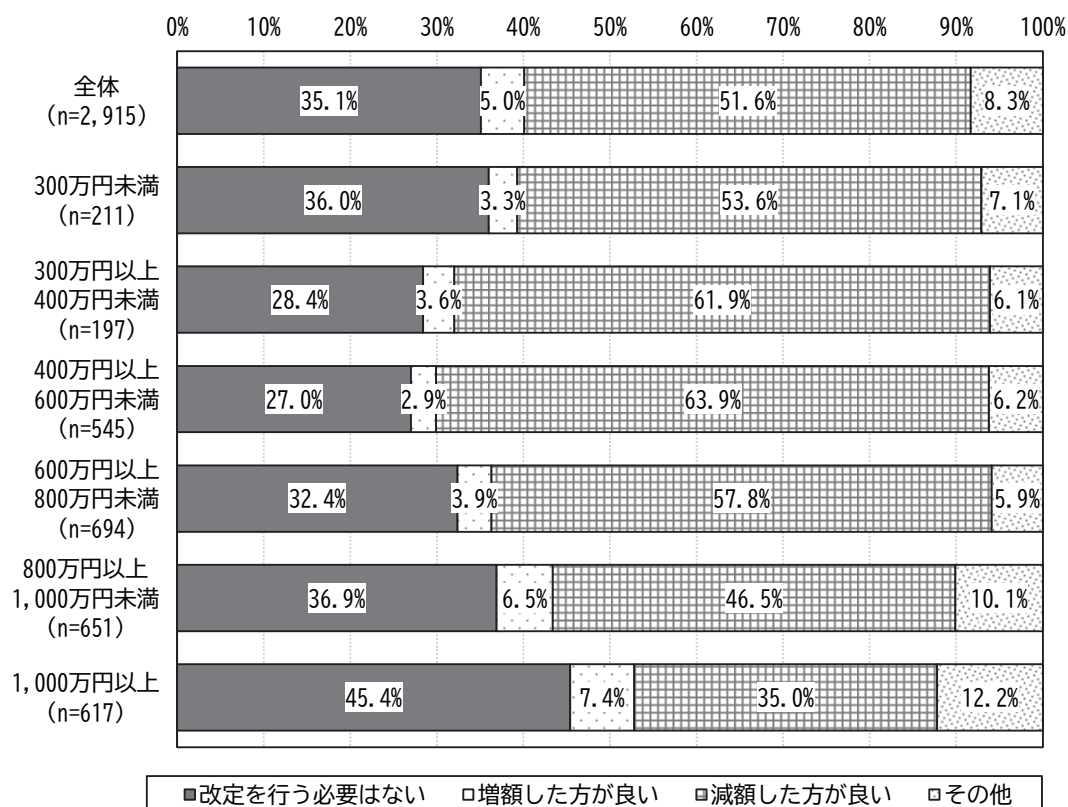
■ 育成料（利用料）を改定する場合の考え方について（学童保育クラブ入会有無別）



(上段:人数/下段:%)					
	回答者数	1. 改定を行 う必要は ない	2. 増額した 方が良い	3. 減額した 方が良い	4. その他
全体	2,915 (100.0)	1,024 (35.1)	145 (5.0)	1,503 (51.6)	243 (8.3)
学童入会有り	1,746 (100.0)	589 (33.7)	44 (2.5)	972 (55.7)	141 (8.1)
学童入会無し	1,169 (100.0)	435 (37.2)	101 (8.7)	531 (45.4)	102 (8.7)

世帯収入別にみると、『300 万円以上 400 万円未満』『400 万円以上 600 万円未満』は「減額した方が良い」が、『1,000 万円以上』は「改定を行う必要はない」が全体に比べて多くなっています。また、『1,000 万円以上』は「減額した方が良い」が全体に比べて少なくなっています。

■ 育成料（利用料）を改定する場合の考え方について（世帯収入別）



(上段:人数/下段:%)					
	回答者数	1. 改定を行 う必要は ない	2. 増額した 方が良い	3. 減額した 方が良い	4. その他
全体	2,915 (100.0)	1,024 (35.1)	145 (5.0)	1,503 (51.6)	243 (8.3)
300万円未満	211 (100.0)	76 (36.0)	7 (3.3)	113 (53.6)	15 (7.1)
300万円以上400万円未満	197 (100.0)	56 (28.4)	7 (3.6)	122 (61.9)	12 (6.1)
400万円以上600万円未満	545 (100.0)	147 (27.0)	16 (2.9)	348 (63.9)	34 (6.2)
600万円以上800万円未満	694 (100.0)	225 (32.4)	27 (3.9)	401 (57.8)	41 (5.9)
800万円以上1,000万円未満	651 (100.0)	240 (36.9)	42 (6.5)	303 (46.5)	66 (10.1)
1,000万円以上	617 (100.0)	280 (45.4)	46 (7.4)	216 (35.0)	75 (12.2)

「その他」について、主な意見は次のとおりです。

- 利用頻度に応じた料金にすべき
 - 毎日利用するならその価格が妥当だと思うが、数回利用希望なので高いと思う。回数によって利用金額の減額をお願いしたい。
 - 使う頻度によって、2、3種類の料金体系があるとよい。
 - 利用状況に合わせた柔軟な金額設定があるとよい。
 - 公平性を求めるなら利用回数による日割りがあると助かる。
 - 2年生以降はあまり行かなくなるので、学童に行った回数で支払うのが一番公平だが、計算が難しいので悩ましい。
- 増額する際の条件／増額すべき理由
 - 減税等の恩恵をまったく受けていないので利用者の負担を増やし町田市からの税金利用を減らしてほしい。
 - 改定なくサービスの質を維持できるのがよいが、増額してサービスが向上する方がより有難い。
 - 改定は希望しないが、社会情勢、経済状況で改定が必要となれば、増額も仕方がない。
 - 市5割、利用者5割負担のラインを守りつつ、昨今の物価高と市の予算と照らし合わせて必要と判断されるなら、増額すればよいと思う。
 - 保育に必要な経費のために育成料は適切に徴収してほしいです。それが増額に繋がってもよいと思います。しかし、低所得者を優遇しすぎです。
 - 使わない人との公平性と言うのであれば、全額保護者負担でもいいような気がする。もしくは、補助額があるならば、普段は使わない人にも一時的に利用できるなど還元してほしい。
 - スタッフの待遇改善につながるなら増額した方がよい。
 - 設備、仕組み、イベントなど、こどもが楽しく、有意義に過ごせるのであれば増額してもよい。
 - 利用料の改定よりも、職員の給与を上げたり、人数を増やしたり、学童クラブの環境設定に注力していただきたいです。環境がよくなるなら、利用料は上がってもいいと考えます。
- 減額する際の条件／減額すべき理由
 - 多少減額し、減免をなくしてはどうかと考える。
 - 必要に応じて改定する方がよいが、少子化対策を考えるのであれば公費負担を増やす方がよいと思う。

- 東京は色々が高いため、育児費用は国で負担してほしい。
 - 物価上昇が続いているのに賃金が上がりず家計はかなり厳しくなっているので（貯金を取り崩す日々です）、正直安いほうが助かります。
- 現状維持にする際の条件／現状維持にすべき理由
 - 現行のままであるとありがたい。現在、減額の対象になっており、大変助かっている。
 - 減額より、環境整備など、9,000 円に見合った内容にしてほしい。
 - 高いと思うが、このご時世仕方ないと思うしかない。子供を預けている以上、とても助かるし、先生方には感謝しかない。
 - このままでお願いしたい。延長も使っているので実質もっとかかっている。
- 所得によらず一律にすべき
 - 所得に関係なく一律にしてほしい。所得が多いと税金を多く払っているにもかかわらず、育成料に限らず、様々な部分で、支払いがさらに多くなる。
- 所得等の状況に応じた改定をすべき
 - 収入とそこご家庭に応じた負担額にしてもらいたい。例えば、収入はある程度あるが介護や子供の入院などでお金がこれ以上払えないご家庭もあると思う。
 - 高所得者は増額、低所得者は減額し、所得に応じた額の見直しをする。
- 無償化にすべき
 - 少子化対策で学童の費用も無料にしてほしい。
- 分からない
 - 公平性の視点が示されたもので合っているのかわからない。
 - 利用したことがなく、内容がわからないので、判断できない。
 - 経費などの内訳、組織形態、教育内容がわからないため、判断できない。
 - 適正価格がわからないから改定した方がいいのかどうかかわからない。なぜ多摩地区で一番高いのか、免除制度にしている理由はなぜか知りたい。
 - 国や都の見直しの内容がわからないので、9,000 円が妥当かどうかかわからない。
- おやつ代について
 - おやつ代も含めてほしい。
 - おやつ代も込みで、9,000 円～10,000 円くらい。
 - 学童にいなかった日の分のおやつ代は返金してほしい。

(2) 育成料（利用料）改定に対する考えの理由について

問4－1. その理由をお聞かせください。（任意）

問4の育成料（利用料）の改定に対する考えの理由について、主な意見は次のとおりです。

① 改定を行う必要はない

- 金額に見合ったサービスであるため
 - 国や町田市が負担してくれている割合を知ることが出来た。運営に人件費等かかると思うので、習い事に通っていると思えば適正価格なのかもしれないと思った。
 - 公平性を保つには今のままがよい。利用者の負担がなくなると、子どもたちは学童へ行きやすくなるが、スペースの問題、トラブルなどがおきやすくなる。スタッフの負担も増える。
 - 仕事の都合でみてもらって大変助かっているのがありがたい。適正金額だと思う。
- 適切な負担感であるため
 - 本当に必要な家庭が利用できるように現状でよいと思う。利用料が低すぎると、とりあえず入会ということが増えそう。4年生以上でも必要としている家庭もあるので空きが確保できるとよい。
 - 料金が丁度よいと思う。高すぎると入らず、安すぎると運営に影響が出そう。
 - これ以上保育料を安くし、なるべく高学年でも入れるようにしてしまうと利用希望者が増えて、施設内の子どもがパンパンになってしまう。
 - 公平性を考えると、利用者負担額の増額が望ましいが、利用者としては現状どおりだと嬉しい。
- 十分な公的負担であるため
 - 世帯所得に応じた負担額になっているため現状のままでよいと思う。
 - 現在の金額でも十分安いと思う。
 - 半分以上はしっかりと補填してもらっている。
 - 減免対象なので、我が家の場合で回答すると、今のままで十分と感じている。
 - 第2子以降の割引もあるし、いいと思う。
- 利用していない世帯との公平性を保つため
 - 学童保育クラブを「利用する人」と「利用しない人」の公平性の視点から、市負担分と利用者負担分を等しくする（それぞれ50%）。そのとおりだと思います。

- 増額が負担になるため
 - 高額になると子どもに一人で留守番をさせる家庭が出る。
 - 50%に近づけるように協力したいが、増額するのは厳しい。
 - 利用者世代は子育てにお金がかかるので、このままキープしてほしい。
 - 物価高もあり働いても出るお金が増えている為、学童費用の増額は困る。減額となったら嬉しいが、とてもお世話になっているので減額してほしいとは言えず、据え置きにして頂けると非常に助かる。

- 減額によるサービスの質の低下を懸念しているため
 - 減額されれば助かるが、子どもの命を預けているから、質が下がってしまっは困る。
 - 減額は家計にとって助かりますが、減額したことでサービスの質が低下するのであれば、改定しなくてよい。

- その他
 - 公平性という理由だけであれば、現状の利用料について変更する必要はないかと思う。そもそも、市負担分と利用者負担分が均等（50%）なのが適正という根拠もわからない。1日保育時の昼食提供や、学習環境の整備など学童保育クラブの利便性を上げるためならば、増額も検討してよいと思う。
 - 単に利用する人、しない人の公平化、自治体と個人負担の均等化だけでは利用料増額には賛同出来ない。各学童クラブの会計、運営実態、処遇（給与待遇）なども踏まえてきちんと適正かどうかを判断すべきと思う。
 - 適正から見ると、増額しても良いように思うが、多摩26市でいちばん高いので、今より高くするのも違うかなと思い、現状維持がよいと思った。
 - 町田市は、予算が乏しいと聞いた。学童保育で、働く方の人員も多く、お子様を預かる責任感の重大さもあると思うので、そのままでよいと思う。

② 増額した方が良い

- 指導員の待遇改善のため
 - 一般的な物価や人件費が上がっている中、事業者の職員への給料にも転嫁が必要で、必要な費用は保護者も負担すべきと思う。
 - 学童指導員のお給料が少ないとの報道をよく目にする。
 - すごく安いと感じるので、増額して職員への還元等をするとういと思う。

- サービスの拡充を図るため
 - 増額をして利便性をよくしてほしい。真夏の炎天下の中、家からお弁当を朝から持たせて行くと、食中毒の危険がある。給食もしくは学童でお弁当を頼んでほしい。
 - 増額して、欠席等の連絡をすべてデジタル化してほしい。
 - 値上げしても構わないので、別支払いとなっているおやつ代等を含めて包括的に扱ってほしい。手続き上の負担をなるべく減らしてほしい。
 - 施設の老朽化の改善をしてほしい。学童保育利用者が学年の半分はいる状態に対して施設が狭く古いままになっている。
 - 負担額は大幅に増額してもかまわないので、保育園の頃と変わらず預けられるように、学童の開所時間を長くし、とにかく保育園の頃と変わらず安心して子どもを預けられる体制にしてほしい。

- 市負担 50%、利用者負担 50%に賛成のため
 - 市負担と利用者負担を等しくする事を目指しているならば、それが適正だと思う。

- 昨今の経済状況に合わせるため
 - 人件費（最低賃金）も毎年上がっていて、電気代や雑費等考えたら上げざるを得ないし、子供を安心して預けるためには仕方ないと思う。

- 利用しない人との公平性を保つため
 - 利用する人、しない人の公平性を期すなら増額してもいいと思う。
 - 学童を利用していない世帯も税金を納めており、その中から学童の運営経費を公費負担している。学童の利用料は自分の子どもの健全な育成のために必要な経費と捉え、利用する方々がご自分のお子様のために支払うべきものである。
 - 利用しない側としては、公費で賄われている部分が多いと不公平感を感じるので、もう少し増額し、公費と利用料が同じくらいになるべきと思う。

- その他
 - 安すぎると感じる。
 - 町田市が高い理由もあると思うので、安くして質が落ちる可能性があるのならば、高くしてもよいと思う。
 - とりあえず学童に入れておけばよいと学童の子の人数も多く学童指導員の負担が大きいように感じられるので、敷居を高くしてもよいと感じる。また、今回初めて結構助成されていると知った。

③ 減額した方が良い

- 他の自治体と比べて高いため
 - 他市と同等な保育内容であるのに対し、利用料が高額である。
 - 多摩 26 市の中で一番高額なので、もう少し減額してほしい。
 - 東京都や近隣の神奈川県は、学童育成料が無償の所があるので、不公平感を大いに感じている。
 - 2018 年に 1.5 倍の増額を行い、他の多摩地区や東京都内で比較しても高額な町田市がさらなる値上げを行うのは理由が乏しい。割合が適正とあるが誰から見たうえでの適正なのか、他地域よりも高額である事の説明が不十分である。
- 物価高騰のため
 - 物価高騰などある中で、収入が増えていない。育成料や学費を考えると 2 人目や 3 人目を作ることに躊躇してしまう。
 - 現状の物価高で、個人に対して負担を強いるべきではない。
 - 物価上昇にもかかわらず、収入もあまり増えない状況の中で、子育てしながら働きやすい環境にしていきたいので、市での負担を増やしてもらえると助かる。
- 負担感が大きいため
 - 育成料のほかに、月々のおやつ代や学童 PTA 費があり、トータルにすると家庭の負担が大きい。
 - 育成料に加えて、おやつ代や延長料金が生じることが当たり前であり、上限額はあるものの夏休みも毎日利用するとなると、結果として負担額は多いと思う。利用しない方との公平性とのことだが、学童保育の意味や必要性とはまた違うのではないか。
 - ギリギリのラインで減免非対象者になる家庭には利用料はかなり負担です。
 - そもそも家計のことがあって仕事をしているため、学童利用するほかない。そこで利用額を増やしてしまうと家計も苦しくなり子どもへの影響も大きくなる。そのため減額するのが望ましい。
 - 保育料無償化とのギャップが大きく負担に感じる。
- 利用頻度が多くないため
 - 預ける時間や日数で料金を変えてほしい。
 - 特に夏休み等、払い損がある。
 - 高学年は低学年と比べて手間かからないし、長期休みや 4 時間、5 時間授業の時のみの利用が多いので減額してほしい。

- 政策等の観点から必要なため
 - 貧困も問題視されており、子どもに関わる費用を下げていかないと、今後の世代が子どもを産みたいと思わなくなってしまう。
 - 少子化だから子どもを産んで育てられる環境をとというわりに子どもの育成にお金がかかりすぎることに疑問を抱く。
 - 「子供にやさしい」を標榜にしている街なら、他の自治体よりも明らかな優位性を打ち出すべきと考える。
 - ずっと住みたい街なので、子育て支援に力を入れてほしい。

- 料金に見合ったサービスではないと感じるため
 - 放課後の数時間で、給食なしおやつ別でこの額は単純に高い。
 - 預かるだけでこの値段は高いと思う。
 - 施設や職員数が十分ではないと感じる。
 - 他の習い事や民間の学童等に比べるとサービス、質ともにその金額は高いと感じる。
 - あまり管理されてなく、怪我していてもなにも連絡がなかったり、帰る時間でないのに勝手に帰ってきたりと、その様なことがあるので、正直この金額は高いと感じる。

- その他
 - 正規雇用ならともかくパート等で働いている場合は、東京都の最低時給で考えても8時間働いた分、つまり約1日分が学童費になってしまう。
 - 負担が3割程度になるのがよいと感じた。
 - 途中まで通っていたが、料金が高くてやめた。毎日いけなくても毎日分のおやつ代の徴収もあり、習い事に使った方がいいと判断した。先生は丁寧に対応してくれていた。
 - 育成料が高いと感じる。利用を辞めたご家庭がかなりいる。まちともがうまく運営されているようなので、まちともで満足している児童もいる。
 - 子供は社会全体で育てて行くべきで、まちともや、つるっこなどの公民館のように、行政による支援は、所得に関係なく、無料で実施してほしい。
 - 資料は適切ではない。アンケート前に資料提示はアンケート実施者が有利になる回答しか得られないのではと感じた。経費の負担割合が何故適正なのかこれではよくわからない。ただ、負担割合の推移をみて、市が子どものことを軽視しているのではないかと感じた。

- 資料のような事が問題視されているのはわかったが、保育園同様、子育てに関する事業には税金が使われてもよいと思う。その方がこれから子供を持ちたい人にも嬉しいのではないかと思う。
- 高収入という理由だけで高く設定されているが、年収を高くしたいために勉強をし、奨学金を借りてまで大学に行って今も払い続けている。努力してきたのにも関わらずこんな扱いは納得いかない。
- 適正な負担割合なのに「多摩 26 市において現時点でもっとも高い金額」であれば見直していただくのが先ではないか。
- 第三子なのに第三子扱いじゃない。それなら元々の料金を下げてほしい。
- 住民税を年収に応じて払っているため、利用料まで年収に応じて支払わなければならないことには少し疑問を感じる。
- 女性が働ける環境をもっと作ってほしい。
- 子供が 3 人いるためなるべく出費を抑えて生活費や子供たちの将来にお金を充てたい。
- 減免制度の適応がない人が他者の減免分を負担しているという運営の仕方はおかしいのではないか。また利用しない人を考慮してという理由も納得いかない。それは他の事業にも当てはまることで、例えばスポーツに興味ない人もいるが、スポーツ事業に多額の費用をかけている。お金にならないことにだけ利用しない人の声を反映するのは納得できない。
- 働いておらず、学童を利用していない時期もあったが、その頃に、学童を利用している方に補助金が使われていることについて特に損をしている気持ちにはなかった。むしろ働く必要がある方には援助してほしいと思っていた。
- 生きるために働き、働くために預けて、預けることで収入が減るというサイクルだと、働いていることの意味がわからなくなる。
- 子育てのお金はこどもが育つにつれ費用が高くなる。小さいうちにできるだけ出費を抑えられれば、将来の学費のための貯金ができる。

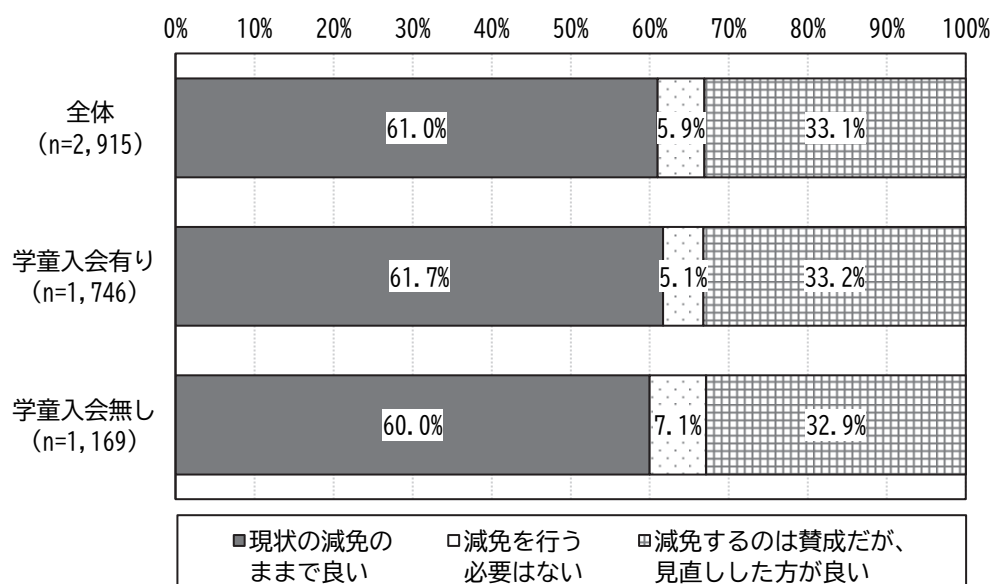
(3) 所得の低い世帯への配慮について

問5. 所得の低い世帯への配慮について、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。(1つ選択)

所得の低い世帯への配慮については、「現状の減免のままで良い」が61.0%でもっとも多く、次いで「減免するのは賛成だが、見直した方が良い」が33.1%、「減免を行う必要はない」が5.9%となっています。

学童保育クラブの入会有無別にみると、『学童入会有り』『学童入会無し』ともに全体と同じ傾向となっています。

■所得の低い世帯への配慮について（学童保育クラブ入会有無別）

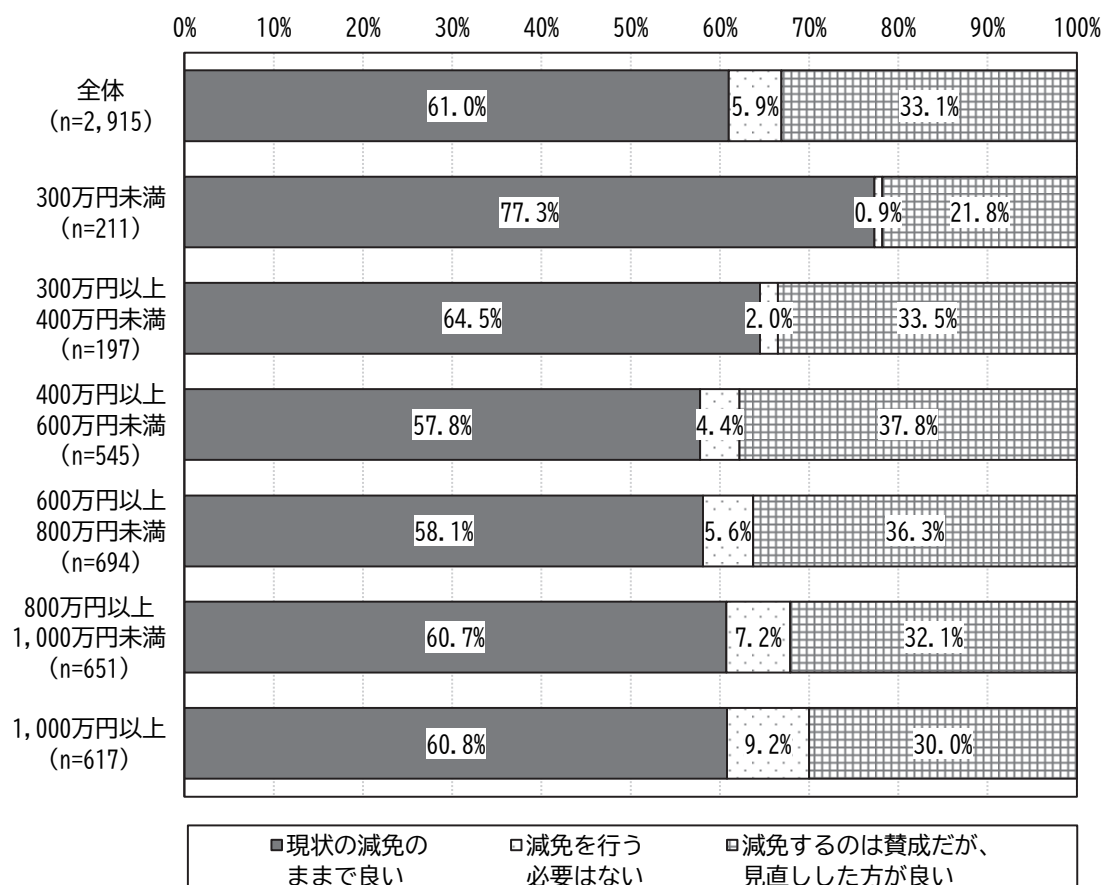


(上段:人数/下段:%)

	回答者数	1. 現状の減免のままで良い	2. 減免を行う必要はない	3. 減免するのは賛成だが、見直した方が良い
全体	2,915 (100.0)	1,778 (61.0)	173 (5.9)	964 (33.1)
学童入会有り	1,746 (100.0)	1,077 (61.7)	90 (5.1)	579 (33.2)
学童入会無し	1,169 (100.0)	701 (60.0)	83 (7.1)	385 (32.9)

世帯収入別にみると、『300万円未満』は「現状の減免のままで良い」が全体に比べて多く、「減免するのは賛成だが、見直しした方が良い」が全体に比べて少なくなっています。

■所得の低い世帯への配慮について（世帯収入別）



(上段:人数/下段:%)

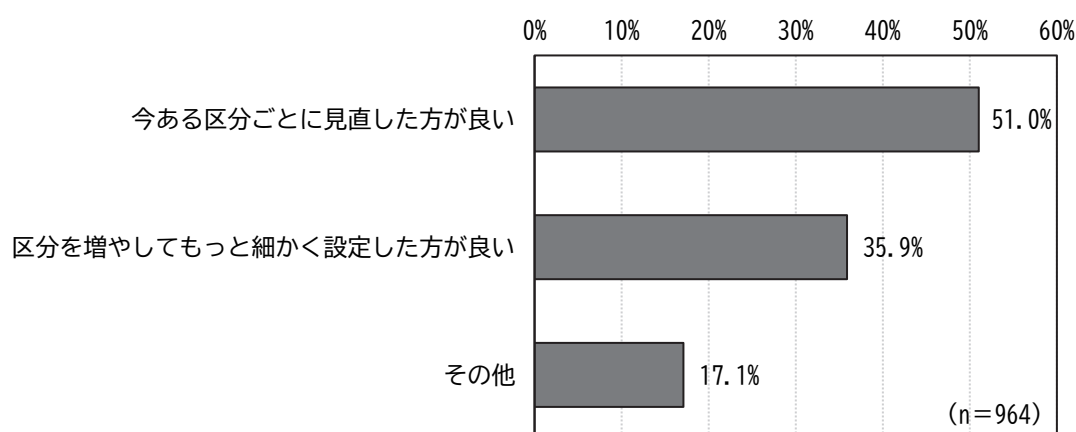
	回答者数	1. 現状の減免のままで良い	2. 減免を行う必要はない	3. 減免するのは賛成だが、見直しした方が良い
全体	2,915 (100.0)	1,778 (61.0)	173 (5.9)	964 (33.1)
300万円未満	211 (100.0)	163 (77.3)	2 (0.9)	46 (21.8)
300万円以上400万円未満	197 (100.0)	127 (64.5)	4 (2.0)	66 (33.5)
400万円以上600万円未満	545 (100.0)	315 (57.8)	24 (4.4)	206 (37.8)
600万円以上800万円未満	694 (100.0)	403 (58.1)	39 (5.6)	252 (36.3)
800万円以上1,000万円未満	651 (100.0)	395 (60.7)	47 (7.2)	209 (32.1)
1,000万円以上	617 (100.0)	375 (60.8)	57 (9.2)	185 (30.0)

(4) 所得の低い世帯に対する減免の見直しについて

問5－1. 問5で「3」と回答した方にお伺いします。どのような見直しが必要か、あなたの考えに当てはまるものはどれですか。(複数回答可)

問5で「3. 減免するのは賛成だが、見直した方が良い」と回答した方にその理由を聞いたところ、「今ある区分ごとに見直した方が良い」が51.0%、「区分を増やしてもっと細かく設定した方が良い」が35.9%となっています。

■ 所得の低い世帯に対する減免の見直しについて (複数回答)



「その他」について、主な意見は次のとおりです。

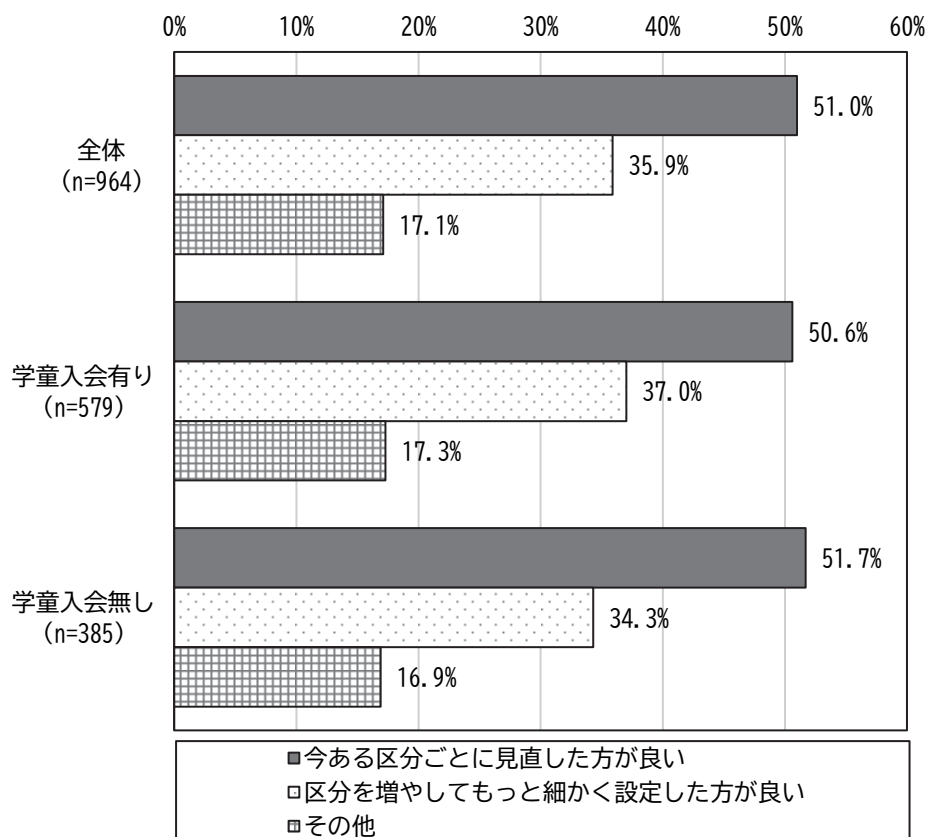
- 今よりさらに減免
 - 区分5でもそんなに裕福ではない。もっと減額してほしい。
 - 非課税世帯へのサポートが手厚いが、苦しいのは非課税世帯だけではないと思う。
 - 所得額が多い家庭でも支出が少ないわけではなく、子育て支援のため、負担軽減、減免してもらいたい。
- 非課税世帯の0円を廃止
 - 自身が非課税世帯で育成料を払っていない状況だが、1,000円だけでも負担するように変えた方がいいように思う。
 - 非課税世帯が何でも免除されるのは違うと思う。税金免除等は市が貧困世帯に対して行うこととしていいと思うけど、学童利用は保護者として立場は一緒だと思う。500円でもいいから利用料の支払いが発生するべきだと思う。
 - 非課税だと、資産があっても働いていないか、生活保護で収入があったりするのではないか。

- 減免要件の見直し
 - ひとり親は非課税世帯と同じにしてほしい。
 - 労働勤務状況、家族構成など置かれている状況はさまざまである。収入によって減免されるのではなく、必要な状況の方が減免されるべきだと思う。「低所得＝要支援」ではないと思う。
 - 所得以外に子どもの人数や扶養の数をふまえ、設定してほしい。
 - 子どもの人数の数を本来の兄弟数のままちゃんと数えてほしい。
 - 障害者手帳も減額の対象にしてほしい。

- 定額化
 - 細かい調整ができる金額でもないので、上限のみ設定して一律の減免がよい。
 - 一律全額減免がよい。
 - シングル家庭と定義されていても、両親などからの援助があり、実際には裕福な家庭もある。子育てにかかる費用は一律減免にすべきと思う。
 - 「利用する人」と「利用しない人」の公平性の視点であれば、減免が不要か均一の方が公平ではないか。税金で賄っているなら、税金を多く払っている方が利用料も多く払うのは不公平ではないか。
 - 金額を一律にし、減免しない。その分、子供手当として子供の為に使うような使用目的が決められた支給にして、子どもにちゃんと使われるようにする。
 - 家族が多く家庭のために一生懸命働いても、中堅所得者は支援をなかなか受けられない。払うものも多く、負担が大きい。困窮世帯は助ける必要があると思うが、一生懸命働いているのに所得額に応じて利用料が上げ下げするなら定額制の方がよい。

学童保育クラブの入会有無別にみると、『学童入会有り』『学童入会無し』ともに全体と同じ傾向となっています。

■所得の低い世帯に対する減免の見直しについて（学童保育クラブ入会有無別）

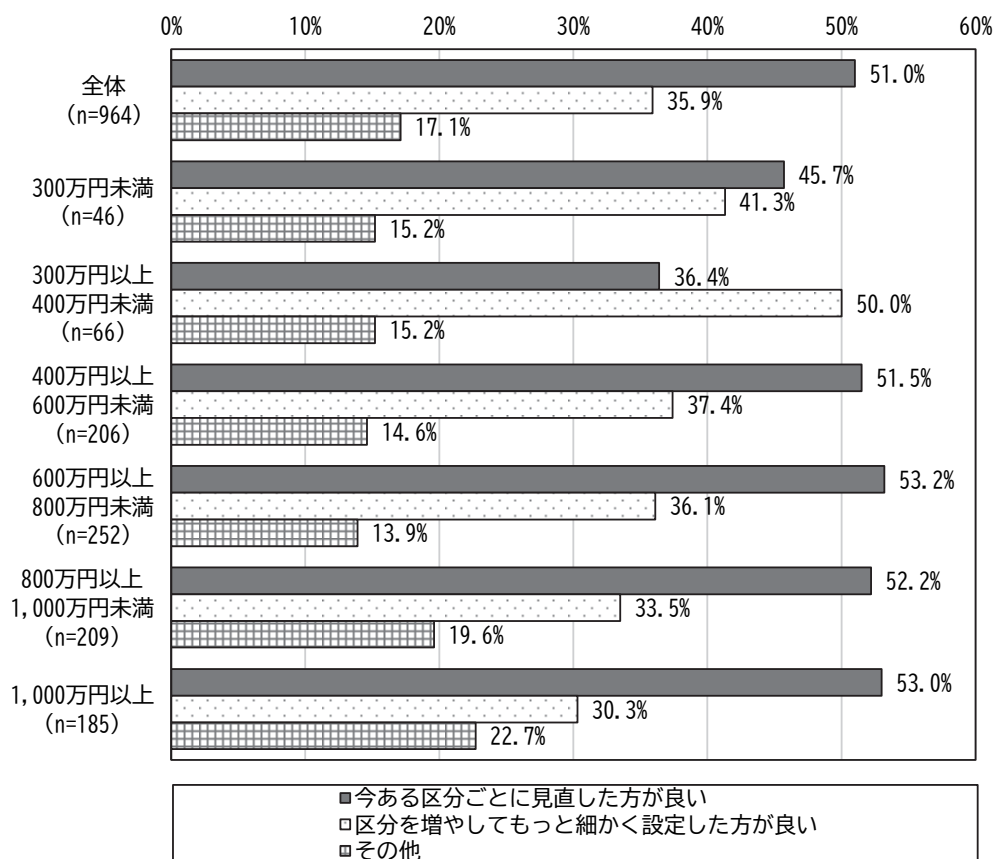


(上段:人数/下段:%)

	回答者数	1. 今ある区分ごとに見直した方が良い	2. 区分を増やしてもっと細かく設定した方が良い	3. その他
全体	964	492 (51.0)	346 (35.9)	165 (17.1)
学童入会有り	579	293 (50.6)	214 (37.0)	100 (17.3)
学童入会無し	385	199 (51.7)	132 (34.3)	65 (16.9)

世帯収入別にみると、『300 万円以上 400 万円未満』以外は、「今ある区分ごとに見直した方が良い」がもっとも多くなっています。

■所得の低い世帯に対する減免の見直しについて（世帯収入別）



		(上段:人数/下段:%)		
	回答者数	1. 今ある区 分ごと に見直 した 方が 良い	2. 区 分 を 増 や し て も っ と 細 か く 設 定 し た 方 が 良 い	3. そ の 他
全体	964	492 (51.0)	346 (35.9)	165 (17.1)
300万円未満	46	21 (45.7)	19 (41.3)	7 (15.2)
300万円以上400万円未満	66	24 (36.4)	33 (50.0)	10 (15.2)
400万円以上600万円未満	206	106 (51.5)	77 (37.4)	30 (14.6)
600万円以上800万円未満	252	134 (53.2)	91 (36.1)	35 (13.9)
800万円以上1,000万円未満	209	109 (52.2)	70 (33.5)	41 (19.6)
1,000万円以上	185	98 (53.0)	56 (30.3)	42 (22.7)

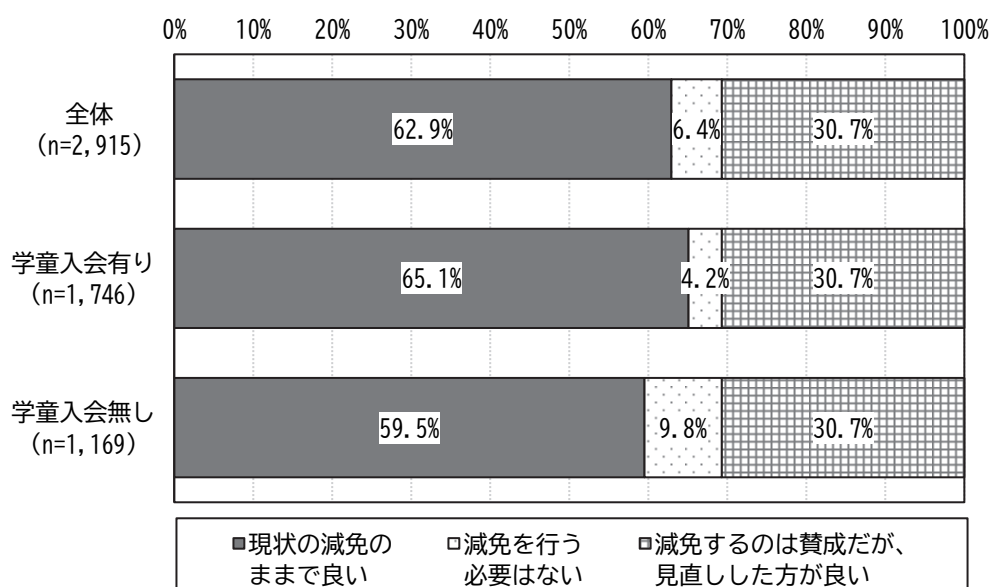
(5) 同一世帯2人目以降の育成料(利用料)について

問6. 子どもの多い世帯への配慮について、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。(1つ選択)

同一世帯2人目以降の育成料(利用料)については、「現状の減免のままで良い」が62.9%でもっとも多く、次いで「減免するのは賛成だが、見直しした方が良い」が30.7%、「減免を行う必要はない」が6.4%となっています。

学童保育クラブの入会有無別にみると、『学童入会有り』は『学童入会無し』に比べて「減免を行う必要はない」の割合が少なくなっています。

■同一世帯2人目以降の育成料(利用料)について(学童保育クラブ入会有無別)

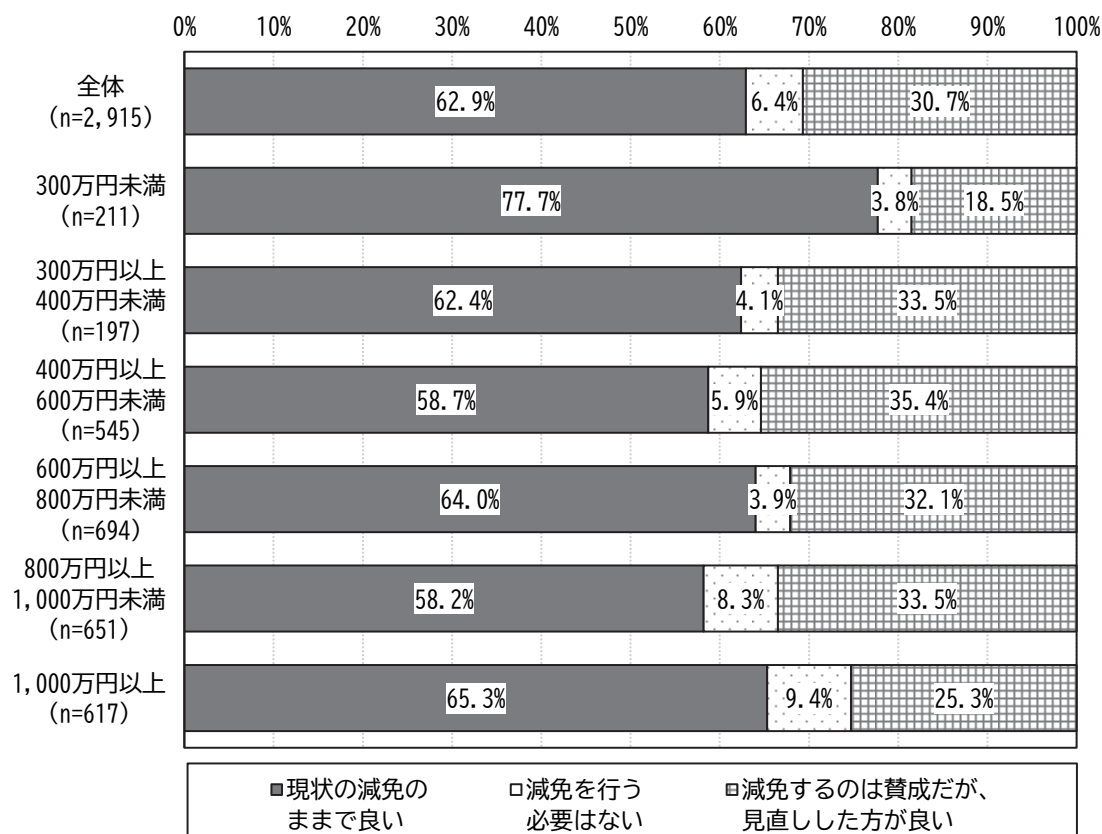


(上段:人数/下段:%)

	回答者数	1. 現状の減 免のま まで良い	2. 減免を行 う必要は ない	3. 減免する のは賛成 だが、見 直しした 方が良い
全体	2,915 (100.0)	1,833 (62.9)	187 (6.4)	895 (30.7)
学童入会有り	1,746 (100.0)	1,137 (65.1)	73 (4.2)	536 (30.7)
学童入会無し	1,169 (100.0)	696 (59.5)	114 (9.8)	359 (30.7)

世帯収入別にみると、『300万円未満』は「現状の減免のままで良い」が全体に比べて多く、「減免するのは賛成だが、見直した方が良い」が全体に比べて少なくなっています。

■同一世帯2人目以降の育成料（利用料）について（世帯収入別）



(上段:人数/下段:%)				
	回答者数	1. 現状の減 免のま ま で良い	2. 減免を行 う必要は ない	3. 減免する のは賛成 だが、見 直した方 が良い
全体	2,915 (100.0)	1,833 (62.9)	187 (6.4)	895 (30.7)
300万円未満	211 (100.0)	164 (77.7)	8 (3.8)	39 (18.5)
300万円以上400万円未満	197 (100.0)	123 (62.4)	8 (4.1)	66 (33.5)
400万円以上600万円未満	545 (100.0)	320 (58.7)	32 (5.9)	193 (35.4)
600万円以上800万円未満	694 (100.0)	444 (64.0)	27 (3.9)	223 (32.1)
800万円以上1,000万円未満	651 (100.0)	379 (58.2)	54 (8.3)	218 (33.5)
1,000万円以上	617 (100.0)	403 (65.3)	58 (9.4)	156 (25.3)

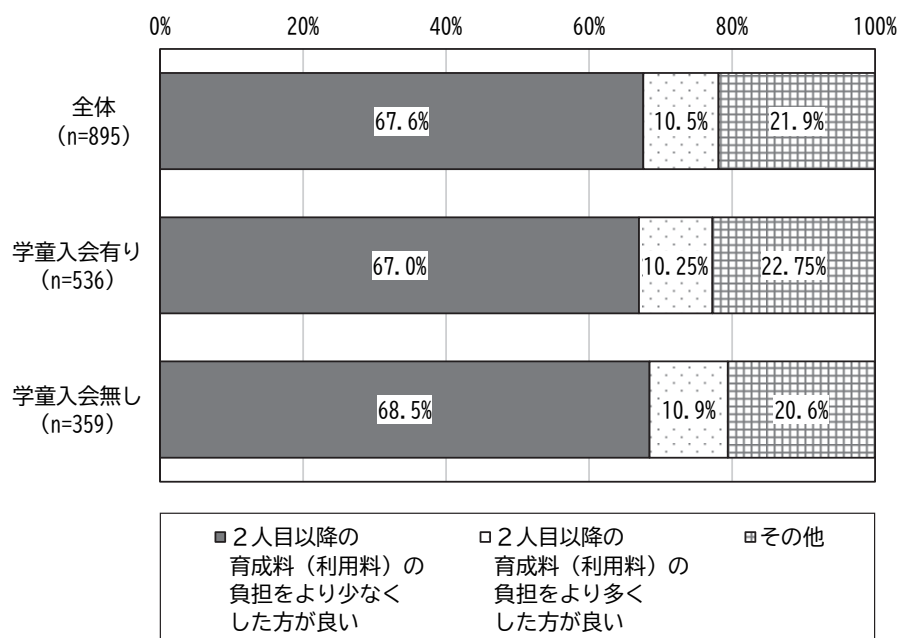
(6) 同一世帯2人目以降の減免額の見直しについて

問6-1. 問6で「3」と回答した方にお伺いします。どのような見直しが必要か、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。(1つ選択)

問6で「減免するのは賛成だが、見直しした方が良い」と回答した方にその理由を聞いたところ、「2人目以降の育成料(利用料)の負担をより少なくした方が良い」が67.6%でもっとも多く、次いで「その他」が21.9%となっています。

学童保育クラブの入会有無別にみると、『学童入会有り』『学童入会無し』ともに全体と同じ傾向となっています。

■ 同一世帯2人目以降の減免額の見直しについて (学童保育クラブ入会有無別)



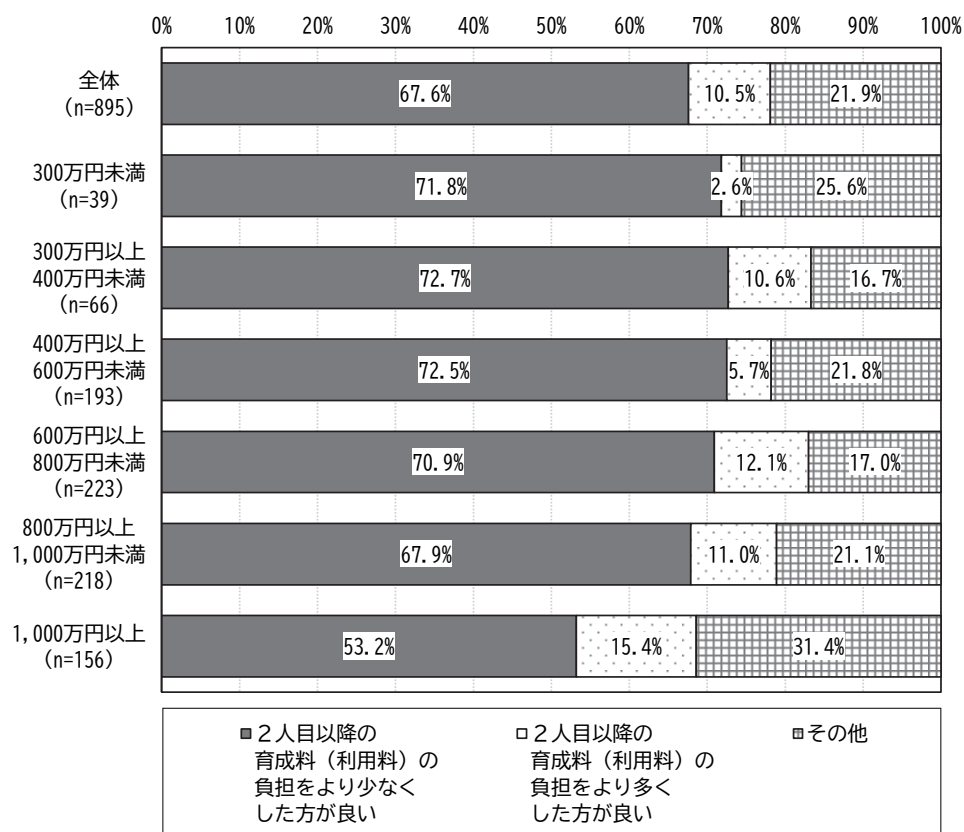
(上段:人数/下段:%)				
	回答者数	1. 2人目以降の育成料(利用料)の負担をより少なくした方が良い	2. 2人目以降の育成料(利用料)の負担をより多くした方が良い	3. その他
全体	895 (100.0)	605 (67.6)	94 (10.5)	196 (21.9)
学童入会有り	536 (100.0)	359 (67.0)	55 (10.25)	122 (22.75)
学童入会無し	359 (100.0)	246 (68.5)	39 (10.9)	74 (20.6)

「その他」について、主な意見は次のとおりです。

- 区分ごとに検討
 - 区分3と区分6では大きく違いがあるし、区分3と区分4でも境界線で推移している世帯にとっては負担が大きかったり、余裕があったりと思う。
 - 区分3～6の2人目以降の育成料が同一金額になる理由が分からない。区分2のように、1人目の育成料の半額とするなら、統一したほうがいい。
- 多子世帯へのさらなる減免
 - 2人目以降は無料にするなどしたほうがよい。
 - 3人目以上は無料にする。
 - 2人目の減免金額は現行でよいが、3人目、4人目以降と更に負担減してはどうか。
- 多子世帯への減免は不要
 - 出産は各個人で選択したことであるため、減免する必要性を感じない。
 - 人数が多くても預けているのは一緒だから減免は必要ない。
- その他
 - 2人目以降の場合は、上の子の年齢に関わらず負担を少なくしてほしい。
 - 2人目割引はあっていいと思うが所得で差をつけず一律にすればいい。

世帯収入別にみると、『1,000万円以上』は「2人目以降の育成料（利用料）の負担をより少なくした方が良い」が全体に比べて少なくなっています。

■ 同一世帯2人目以降の減免額の見直しについて（世帯収入別）



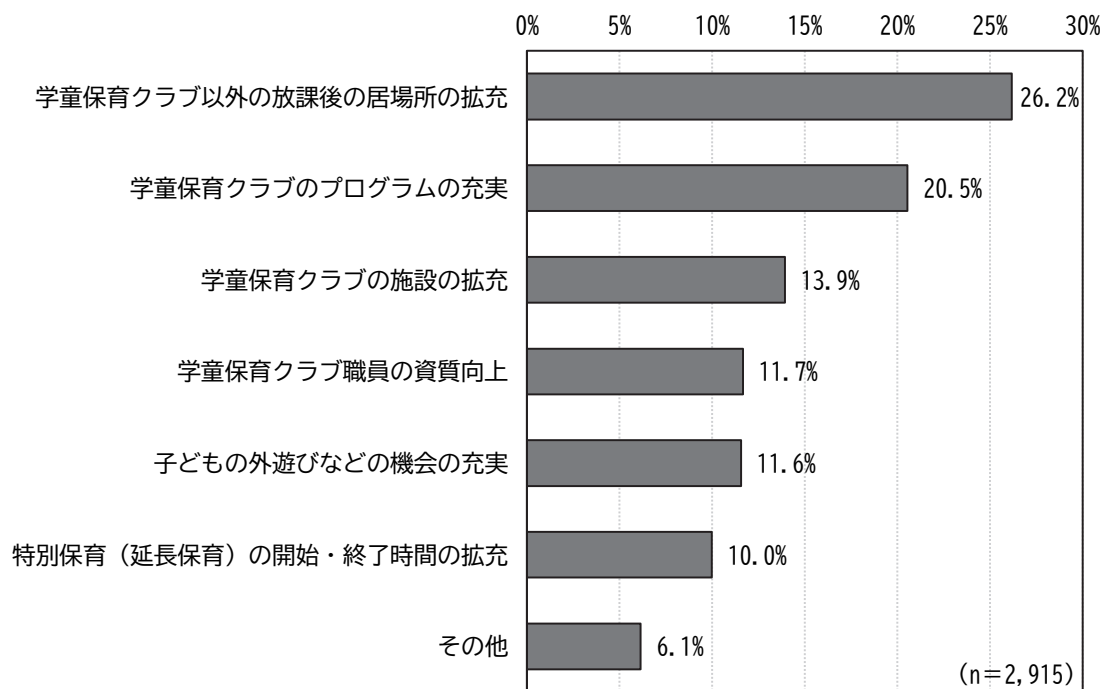
(上段:人数/下段:%)				
	回答者数	1. 2人目以降の育成料（利用料）の負担をより少なくした方が良い	2. 2人目以降の育成料（利用料）の負担をより多くした方が良い	3. その他
全体	895 (100.0)	605 (67.6)	94 (10.5)	196 (21.9)
300万円未満	39 (100.0)	28 (71.8)	1 (2.6)	10 (25.6)
300万円以上400万円未満	66 (100.0)	48 (72.7)	7 (10.6)	11 (16.7)
400万円以上600万円未満	193 (100.0)	140 (72.5)	11 (5.7)	42 (21.8)
600万円以上800万円未満	223 (100.0)	158 (70.9)	27 (12.1)	38 (17.0)
800万円以上1,000万円未満	218 (100.0)	148 (67.9)	24 (11.0)	46 (21.1)
1,000万円以上	156 (100.0)	83 (53.2)	24 (15.4)	49 (31.4)

3. 児童の放課後の過ごし方について

問7. 児童の放課後の過ごし方を充実させるための施策として、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。（1つ選択）

児童の放課後の過ごし方を充実させるための施策については、「学童保育クラブ以外の放課後の居場所の拡充」が26.2%でもっとも多く、次いで「学童保育クラブのプログラムの充実」が20.5%、「学童保育クラブの施設の拡充」が13.9%と続いています。

■児童の放課後の過ごし方を充実させる施策について

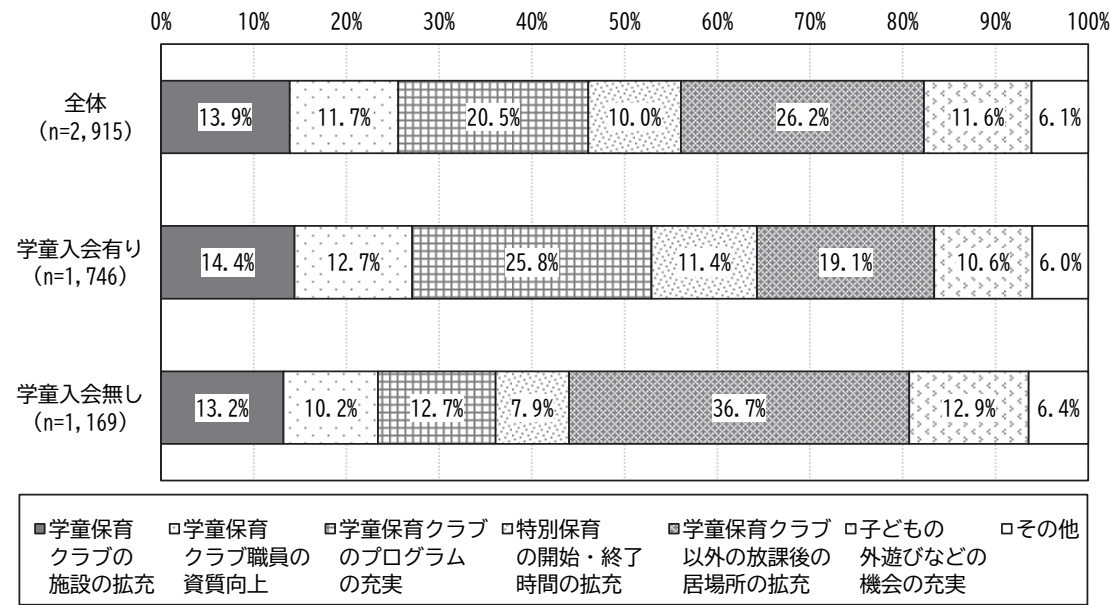


「その他」について、主な意見は次のとおりです。

- 横浜市の放課後キッズクラブでは働いているかいないかに関係なく、費用を払うと児童を預かるシステムがあり、外出したとき、用事があるときなど活用できる人たちも多い。
- 児童館や習い事などにいくアクセスの整備をしてほしい。魅力的な施設はたくさんあるのに一人での移動ができず、活用できていない。
- 子どもセンターや児童館、冒険遊び場と学童を連携し、例えば土曜保育や長期休みのときなどに、学童のみんなで少し離れた場所に遊びに行くなど、多様な経験の機会があるとありがたい。
- 学童利用を申し込んでいなくても、必要な時に簡単に預けられる仕組みがあるとよい。以前居住していた川崎市では、「わくわくプラザ」という名称で常時利用と一時利用を同時に受け入れていた。

学童保育クラブ入会有無別にみると、『学童入会有り』は「学童保育クラブのプログラムの充実（学習・遊び・交流）」が、『学童入会無し』は「学童保育クラブ以外の放課後の居場所の拡充（まちとも、子どもセンター、子どもクラブなど）」が全体に比べて多くなっています。

■児童の放課後の過ごし方を充実させる施策について（学童保育クラブ入会有無別）

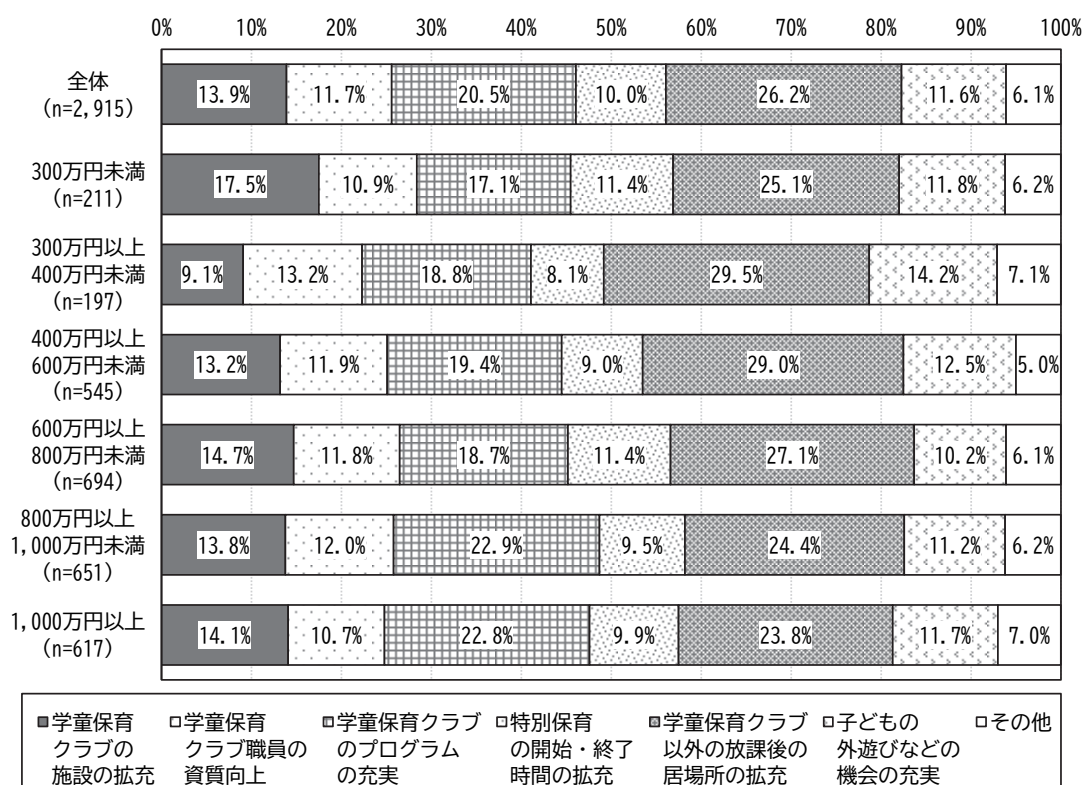


（上段：人数/下段：％）

	回答者数	1. 学童保育 クラブの 施設の拡 充（増設 や受け入 れ人数増 など）	2. 学童保育 クラブ職 員の資質 向上	3. 学童保育 クラブの プログラ ムの充実 （学習・ 遊び・交 流）	4. 特別保育 （延長保 育）の開 始・終了 時間の拡 充（現在 の特別保 育時間： 8:00～ 8:29と 18:01～ 19:00）	5. 学童保育 クラブ以 外の放課 後の居場 所の拡充 （まちと も、子ど もセン ター、子 どもクラ ブなど）	6. 子どもの 外遊びな どの機 会の充実 （冒険遊 び場など 屋外での 活動）	7. その他
全体	2,915 (100.0)	406 (13.9)	340 (11.7)	599 (20.5)	291 (10.0)	763 (26.2)	337 (11.6)	179 (6.1)
学童入会有り	1,746 (100.0)	251 (14.4)	221 (12.7)	451 (25.8)	199 (11.4)	334 (19.1)	186 (10.6)	104 (6.0)
学童入会無し	1,169 (100.0)	155 (13.2)	119 (10.2)	148 (12.7)	92 (7.9)	429 (36.7)	151 (12.9)	75 (6.4)

世帯収入別にみると、収入区分により充実させる施策について、差異が見受けられます。

■児童の放課後の過ごし方を充実させる施策について（世帯収入別）



(上段:人数/下段:%)

	回答者数	1. 学童保育 クラブの 施設の拡 充(増設 や受け入 れ人数増 など)	2. 学童保育 クラブ職 員の資質 向上	3. 学童保育 クラブの プログラ ムの充実 (学習・ 遊び・交 流)	4. 特別保育 (延長保 育)の開 始・終了 時間の拡 充(現在 の特別保 育時間: 8:00~ 8:29と 18:01~ 19:00)	5. 学童保育 クラブ以 外の放課 後の居場 所の拡充 (まちな か、子ど もセン ター、子 どもクラ ブなど)	6. 子どもの 外遊びな どの機 会の充実 (冒険遊 び場など 屋外での 活動)	7. その他
全体	2,915 (100.0)	406 (13.9)	340 (11.7)	599 (20.5)	291 (10.0)	763 (26.2)	337 (11.6)	179 (6.1)
300万円未満	211 (100.0)	37 (17.5)	23 (10.9)	36 (17.1)	24 (11.4)	53 (25.1)	25 (11.8)	13 (6.2)
300万円以上400万円未満	197 (100.0)	18 (9.1)	26 (13.2)	37 (18.8)	16 (8.1)	58 (29.5)	28 (14.2)	14 (7.1)
400万円以上600万円未満	545 (100.0)	72 (13.2)	65 (11.9)	106 (19.4)	49 (9.0)	158 (29.0)	68 (12.5)	27 (5.0)
600万円以上800万円未満	694 (100.0)	102 (14.7)	82 (11.8)	130 (18.7)	79 (11.4)	188 (27.1)	71 (10.2)	42 (6.1)
800万円以上1,000万円未満	651 (100.0)	90 (13.8)	78 (12.0)	149 (22.9)	62 (9.5)	159 (24.4)	73 (11.2)	40 (6.2)
1,000万円以上	617 (100.0)	87 (14.1)	66 (10.7)	141 (22.8)	61 (9.9)	147 (23.8)	72 (11.7)	43 (7.0)

4. 自由意見

問 8. 最後に、町田市の学童保育クラブや放課後の過ごし方に関する支援施策へのご意見などがございましたら、ご自由にご記入ください。

自由意見でいただいた 829 件の意見の主な内容は次のとおりです。

(1) 育成料について

- 金額
 - 低所得者よりも中間層が 1 番損をしていると思う。支援の格差は無くしてほしい。
 - 最低限の安全が担保されれば質は問わない。お金を取ると親も「お客様」になり過剰なサービスを求めるのではないか。ある程度の自己責任とし、税金で賄って無料にするのがよいと思う。
 - 親の所得が少ないならば、もっと働けばよい。学童で働いている方の負担などを考えると、金額を上げるべきで、給料が増えれば雇用も増え、やる気も変わる。
 - 延長保育に対しても減免等措置があるとありがたい。
- おやつ代
 - 長期休みは 14 時頃まで利用で、平時も週 2 日おやつ時間前の 14 時半ころ帰宅する。おやつ不要なので、おやつ代を無しにできると集金袋のやりとりがなくありがたい。
- 案内／申請・手続き等
 - 転入してきた方にもわかりやすい案内があればよい。
 - 申し込みや減免の審査がとても煩雑で大変だった。夫が海外赴任している時など書類を揃えるのに海外や夫の会社とのやりとりが負担だった。少数派の事情も理解し対応してほしい。

(2) 提供内容について

- 利用時間の拡充
 - 休み期間中、通常学校に行くのと同じ時間で家を出ると学童は特別保育時間になってしまう。学校に合わせた時間設定にしてもらいたい。
 - 4月の1年生の帰りが早い時期だけの何か対策や支援がほしい。普段は間に合うけれどこの時期だけが本当に困るお母さんたちは多いと思う。
 - 保育園と同様に朝7時台から空いていれば、共働きで遠方に通勤する保護者は大変ありがたい。
 - 日曜祝日が仕事時の預け先があると助かる。
 - シングルマザーで正社員だと19:00には間に合わない。手当より20時まで預かってくれるほうがありがたい。キャリアにも影響してしまう。
- 一時利用
 - 利用料を払えば誰でも利用できるようにしてほしい。普段自宅にいても、通院や介護で帰宅が遅くなるときの受け皿がない。
- 長期休みのみの利用
 - 長期休みのみの人は育成料を通常より増額するなどの対応をしてもよいと思う。
 - 長期休暇しか通わないが、入れるか分からないのが不安で年間通して費用を支払うのは大変負担になる。
- イベントの充実
 - 課外活動等を取り入れていただけるとありがたい。
 - 誕生日会、ゲーム大会、ドッチボール大会、昔遊びをする日、みんなで買い物へ行く日など、イベントを設けてもらえると、保護者としてはありがたい。
 - 自分が学童に通っている時、夏休みなど、学校が休みの日に学童の先生が引率で、別の学童や公園など、いつもと違う施設で過ごすことがあった。いろんな学童が合同でそこへ集まり、こども祭りみたいなことをやってもらったこともある。今は人員も削減されていて難しいかもしれないが、たまに別の場所で遊ぶ事ができると子供達も少し環境が変わり面白いと思う。

- 環境整備

- タブレット学習を認めてほしい。学校でも PC が導入されており、今後紙教材がなくなっていくのは明確で、早期にタブレットなどの電子ツールによる学習について真剣に検討してほしい。
- 欠席や降室時間変更連絡のアプリ導入を希望する。
- 現状の連絡方法が『電話と連絡帳』だが、学校や保育園のようにアプリを導入して欲しい。毎日連絡帳を開いて書いて持たせるというのが負担なので、その軽減のためにも、アプリで管理してほしい。
- 学校から Chromebook の宿題がたくさん出るため、Wi-Fi を設置してほしい。
- 保育園と違いセキュリティが低いため改善してほしい。
- 大きい部屋にクーラーをつけてほしい。
- お弁当を保存するための冷蔵庫を設置してほしい。
- 本やマンガ、おもちゃなどはある程度の流行を追った物を用意してもらった方が、手に入る確率が上がって費用対効果が高いように思うので、定期的に購入してほしい。
- 人数のわりに、ボールなどの備品が少なく、遊びたい遊びができないようなので、外遊び用の備品を補充してほしい。
- 学童の建物が古く、トイレも汚いので、きれいにしてほしい。
- 異年齢が集まって過ごす場所なので、それぞれの学年に合った過ごし方、場所の分け方、交流の仕方を工夫してもらえたらよりよくなると思う。
- 指導員をもう少し増やしてほしい。子供が怪我をした際に指導員が現場におらず、子供たちの聴き取りのみで状況把握をしていたことが何度かあった。
- 学童によって運営方法が違って不平等と感じる。
- 学童クラブにおいても、雇用が難しい現状は理解できるが、日本版 DBS の採用を義務付けてほしい。

- 学習

- 学校の宿題を学童から帰宅後にやるのは、疲れや時間の関係で大変なので、音読以外の宿題は学童で取り組めるとよい。
- 学習の時間枠を平日にも設けてほしい。自由な時間に関しては、製作や季節のイベントが現在もありとてもありがたいので引き続き体験させてあげてほしい。

- 習いごと
 - 公文や英語教室、体操教室、バス送迎ありでスイミングスクールなど、業者と提携して、別途お金を払えば教育を受けられる教室も用意してほしい。
 - シルバー人材を活用した英語教室、工作教室などを月2～4回程度開催してもらえるとよいと思う。
 - 民間の学童保育施設のように、別料金で習い事要素（体育館で体操、ピアノレッスンなど）のサービスが将来的に出来たらとても理想的だと思う。
- 昼食
 - 今、長期休暇期間にお弁当を持参しておりますが、お金を払えばランチを用意してもらえるサービスがある市もあると聞いている。夏は食中毒の危険があり、お弁当を持たせるのが怖く、また働く世帯の負担軽減にも繋がるので、そういったサービスを検討していただけるとありがたい。
 - 夏休み等の長期休暇の給食導入を願いたい。
- 入会条件の緩和
 - 働き方が多様化する中で、就業日数が少ないために学童に入れず困っている。就業条件を無くすことや、その他の理由（例えばレスパイトなどでも）利用できるようになるといいと思う。
 - 母親がパートをしても、15時以降家にいる場合、学童に入れないのは、普段は問題なくても夏休みなど長期休みのときに困る。
 - 学童の入所要件の「帰宅が15:30以降」については改正した方がよいと思う。1年生は、13:30には帰宅してくるので、その時間までに仕事から帰宅できない親は、学童の申請ができるようにしてほしい。火曜木曜のまちともが「雨天中止」なので、雨が降ると必然的に家で留守番させることになる。学童にも入れず、まちともにも行けず、非常に不安があるが、預け先もないため仕方なくそうしている。
- 登下校時の安全確保
 - 危ないので1人帰りはさせない方がよい。特に冬場は暗くなるのが早いので、送迎サポート（自宅近くまで付き添いで歩いて送る）があると助かる保護者が多いのではないかと。
 - 統合により、不本意な変更の中、暗い時間に遠い距離を歩くこととなり不安を感じている。

(3) 放課後・長期休みの過ごし方について

- まちともにについて
 - まちともにに関して、放課後から利用できると助かる。14:30 までが 1 人で待機しないといけないことや、移動の問題などがあり残念に思う声をよく耳にする。
 - まちともが夏、冬、春休みもずっとあるとよい。
 - 放課後宿題ができるスペースがあるといい。
 - 学校内のまちともや、冒険遊び場は、大人が見守ってくれているので、子どもを送り出して遊ばせるのに安心感がある。
 - 地域の方を呼んでの昔遊びや季節毎のイベント、地域交流などが月に 1 回でもあれば地域の方と学校との一体感、関わりが出来ていいと思う。

- 公共施設等の活用
 - 子どもセンターなど、大人の目があり、安心して過ごせる場所がもっと増えたらよいと思う。
 - 児童センターなど子どもが安全に身近に遊べる屋内施設が少なすぎるため、拡充してほしい。南地区は車など送迎が必要な距離にしか児童センターがなく、子どもだけでは遊びに行けない。
 - 冒険遊び場を利用しているが、外遊びの重要性を皆に知ってもらいたい。
 - 子どもセンターを利用するこどものマナーが良くない（ゴミを置きっぱなしにする）。安心して子どもを遊ばせられるようになると助かる。
 - 放課後の体育館を開放してほしい。
 - 放課後の図書室を開放してほしい。
 - 特に夏休み等の長期休みに有料でも参加出来るプログラムがあれば参加したい。
 - 夏休みに校庭を開放してほしい。
 - 夏休みのプールの解放や水泳クラブなどもあるとありがたい。

● 公園等の場

- 公園や広場などが少なく遊び場が足りないように思う。学校の放課後解放、体育館等も利用しつつ教室も物作り教室などをやってほしい。
- 放課後、サッカーや野球などのボールを使って思い切り遊べる公園が近くになく、既存の公園に一画でも背の高いネットを張って安心してボール遊びができるようにしてくれたらありがたい。
- 夏休み期間に暑くて外に出られない日は体育館で遊ぶなど室内での広い場所の確保をしてほしい。
- 夏休みや冬休みなどの長期休みの際にのみ、気軽に利用できる場所があるとありがたい。
- 町田市内の地域ごとに、屋内の運動遊びができる施設があると、気温の高い日や大雨の日も児童の運動量が確保でき、体力向上や児童間の交流の機会が増え、児童の健全育成に繋がると考える。

(4) その他

- 駐車場があるとよい。
- ランドセルを置いて、習い事に行った後でも学童を利用できるようにしてほしい。
- 外で遊ぶ機会を増やしてほしい。
- 身体と頭、心の成長のための補食となるようなおやつを提供の検討をしていただきたい。
- 中学年となると、低学年の子が騒いでいる中の狭い部屋で過ごすことはなかなか辛いようで、学校内施設の利用や学年別の過ごし方の配慮などがもう少しあるとありがたい。
- 学童に通い始めてすぐのころに子ども本人から、学童では横に寝転がる場所がなくて身体が疲れると言われたことがあった。全学年対象とすると様々な問題があるかもしれないが、横になれる場所があるといいなと思ったことがある。
- PTA 活動が負担になっている。
- 学校との連携を強化すれば、学童保育での問題や人手不足解消に繋がると思う。
- 先生を知るため、活動内容への理解を深めるため、学校のように、保護者参観などがあるとよい。
- 遊ぶものが変わらないから、飽きるみたい。
- 低学年と高学年が混じっているため、特に1、2年生などは年上を怖いと感じる場面があるようで、もう少し上手に安全に運営していただけるとありがたい。
- 先生方のお給料もしっかり値上げしてあげてほしい。楽な仕事ではありませんし、もっと評価されてよいお仕事だと思う。
- 学校統合に伴い、学童の環境が大きく変わる可能性があるが、必要とする児童全てが利用できる機会と、安全面に配慮した体制を組んでほしい。
- 川崎市の夢パークのような場所が必要だと思う。子どもが安心してのびのび過ごせる場所がないと健やかな成長には繋がらないと思う。

資 料 編

(調査票 Web 画面)

「学童保育クラブ育成料（利用料）」に関する市民意識調査

IDとパスワードを入力してください

開 始

「学童保育クラブ育成料（利用料）」に関する市民意識調査

調査にご協力いただきありがとうございます。

- ◆設問数 : 8 問
- ◆所要時間 : 約 1 0 分
- ◆回答期限 : 7 月 1 7 日

※回答は無記名です。回答は統計的に処理し、まちだ子育てサイトで公表します。

はじめにお読みください。

■アンケートの回答には、ブラウザのJavaScriptの設定を有効にする必要があります。

【推奨環境（OS・ブラウザ）】

- Microsoft Windows10以降
- ・Microsoft Edge 最新版
- ・Firefox 最新版
- ・Google Chrome 最新版
- Macintosh OS X以降
- ・Safari 最新版

- iOS 最新版
- ・Safari 最新版
- Android 最新版
- ・Google Chrome 最新版

※ 上記以外の（OS・ブラウザ）では、正常に動作しない場合がございます。あらかじめご了承ください。

下記のみず色のラインの中に「開始」ボタンが表示されない場合は、JavaScriptがOFFになっているか、推奨環境ブラウザではありません。

お手数ですが、JavaScriptを設定後/ブラウザタイプ確認後に、ページの更新(F 5 キー)をお願い致します。

戻 る

開 始

「学童保育クラブ育成料（利用料）」に関する市民意識調査

【 14 % / 100% 】

問1.

お子さんについて、次の学年別の人数を選択するとともに、町田市が運営する学童保育クラブに入会しているかどうか（入会していれば○）を教えてください。

学 年		人 数	学 童 保 育 会 入 会
中学生以上		▼選択▼	-
小学生	6年生	▼選択▼	▼選択▼
	5年生	▼選択▼	▼選択▼
	4年生	▼選択▼	▼選択▼
	3年生	▼選択▼	▼選択▼
	2年生	▼選択▼	▼選択▼
	1年生	▼選択▼	▼選択▼
小学生未満		▼選択▼	-

戻 る

次 へ

「学童保育クラブ育成料（利用料）」に関する市民意識調査

[21 % / 100%]

問1-1.

町田市の学童保育クラブに“入会していない小学生”のお子さんがいる方にお聞きします。

町田市の学童保育クラブを利用しない理由を教えてください。（複数選択可）

- ☐ 保護者・きょうだいが家にいるため
- ☐ 留守番することができるため
- ☐ 祖父母宅・知人宅で過ごすため
- ☐ 習い事をしているため
- ☐ まちともを利用するため
- ☐ 子どもセンター、子どもクラブを利用するため
- ☐ 冒険遊び場を利用するため
- ☐ 民間の学童保育クラブを利用するため
- ☐ 子どもが利用したがるらないため
- ☐ 育成料（利用料）が高いため
- ☐ その他
- ☐

戻 る

次 へ

「学童保育クラブ育成料（利用料）」に関する市民意識調査

[28 % / 100%]

問2.

小学生のお子さんが現在通われている小学校を教えてください。（複数選択可）

- ☐ 町田第一小学校
☐ 町田第二小学校
☐ 町田第三小学校
☐ 町田第四小学校
☐ 町田第五小学校
☐ 町田第六小学校
☐ 南大谷小学校
☐ 藤の台小学校
☐ 本町田東小学校
☐ 本町田小学校
☐ 南第一小学校
☐ 南第二小学校
☐ 南第三小学校
☐ 南第四小学校
☐ つくし野小学校
☐ 小川小学校
☐ 成瀬台小学校
☐ 鶴間小学校
☐ 高ヶ坂小学校
☐ 成瀬中央小学校
☐ 南成瀬小学校
☐ 南つくし野小学校
☐ 鶴川第一小学校
☐ 鶴川第二小学校
☐ 鶴川第三小学校
☐ 鶴川第四小学校
☐ 金井小学校
☐ 大蔵小学校
☐ 三輪小学校
☐ 忠生小学校
☐ 小山田小学校
☐ 忠生第三小学校
☐ 山崎小学校
☐ 小山田南小学校
☐ 木曽境川小学校
☐ 七国山小学校
☐ 図師小学校
☐ 小山小学校
☐ 小山ヶ丘小学校
☐ 小山中央小学校
☐ 相原小学校
☐ 小中一貫ゆくのき学園（大戸小学校）
☐ 上記以外の小学校

戻 る

次 へ

「学童保育クラブ育成料（利用料）」に関する市民意識調査

[35 % / 100%]

問3.

世帯の年間総収入（金額）※は、およそどのくらいですか。（1つ選択）

※年間総収入（金額）とは、すべての収入を含み、各種税金・社会保険料等天引き前の金額

- ・共働きの場合などは、ご家庭の全体の金額
- ・給与収入の場合、源泉徴収票の「支払金額」欄の金額
- ・自営業者等の場合、確定申告書の「所得金額」の「合計」欄の金額（収入金額から必要経費を差し引いた額）

- ☐ 300万円未満
- ☐ 300万円以上400万円未満
- ☐ 400万円以上600万円未満
- ☐ 600万円以上800万円未満
- ☐ 800万円以上1,000万円未満
- ☐ 1,000万円以上

戻 る

次 へ

「学童保育クラブ育成料（利用料）」に関する市民意識調査

[42 % / 100%]

育成料（利用料）の改定を行うべきかどうかについて伺います。

町田市の学童保育クラブの育成料（利用料）は月額9,000円で、多摩26市において現時点で最も高い金額です。表1のとおり所得額に応じて減額・免除（以下「減免」）しており、他市では、減免を設けず一律負担としている自治体もあります。

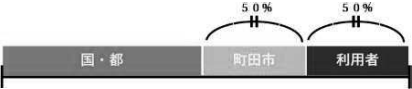
■表1 世帯区分別の育成料及び減免額一覧

減免区分	世帯区分	育成料（1人目）	（参考）減免額
－	減免申請なし	9,000円	－
区分1	市民税非課税世帯	0円	9,000円
区分2	市民税均等割のみ課税世帯及び市民税所得割額48,600円未満世帯	3,000円	6,000円
区分3	市民税所得割額48,600円以上60,000円未満世帯	6,000円	3,000円
区分4	市民税所得割額60,000円以上162,000円未満世帯	7,000円	2,000円
区分5	市民税所得割額162,000円以上313,000円未満世帯	8,000円	1,000円
区分6	市民税所得割額313,000円以上世帯	9,000円	0円

※市民税所得割額の算出方法

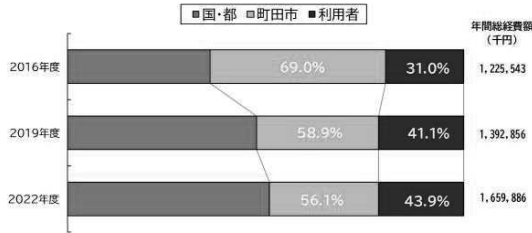
- ・毎年6月頃に市から送付される「市民税・都民税額決定通知書」や、「課税・非課税証明書」で確認できます。また、「まちだ子育てサイト」で育成料の概算シミュレーションができます。
- ・詳しくはこちらをご覧ください。
住民税の計算方法/町田市ホームページ (city.machida.tokyo.jp)
総務省 | 地方税制度 | 個人住民税 (soumu.go.jp)

学童保育クラブにかかる経費は、公費（国・都補助金、市負担分）と育成料（利用料）で賄われており、学童保育クラブを「利用する人」と「利用しない人」の公平性の観点から、市負担分と利用者負担分を等しくする（それぞれ50%）ことが適正とされています。



■図1 経費の負担割合

図2をみると、2016年度の負担割合は市69.0%、利用者31.0%でしたが、国・都補助金額の増加や育成料（利用料）の見直しなどにより、2022年度の負担割合は市56.1%、利用者43.9%と、年々適正な割合に近づいています。



■図2 経費の負担割合の年度推移

問4.

上記を踏まえ、育成料（利用料）について、あなたの考えにもっとも近いものをお選びください。（1つ選択）

- ☐ 改定を行う必要はない
- ☐ 増額した方がよい
- ☐ 減額した方がよい
- ☐ その他

任意 問4-1.

その理由をお聞かせください。

戻る

次へ

「学童保育クラブ育成料（利用料）」に関する市民意識調査

[50 % / 100%]

所得の低い世帯の育成料（利用料）は、表2のとおり減免されています。

■表2 世帯区分別の減免額一覧

減免区分	世帯区分	減免額	(参考) 育成料
—	減免申請なし	—	9,000円
区分1	市民税非課税世帯	9,000円	0円
区分2	市民税均等割のみ課税世帯及び 市民税所得割額48,600円未満世帯	6,000円	3,000円
区分3	市民税所得割額 48,600円以上60,000円未満世帯	3,000円	6,000円
区分4	市民税所得割額 60,000円以上162,000円未満世帯	2,000円	7,000円
区分5	市民税所得割額 162,000円以上313,000円未満世帯	1,000円	8,000円
区分6	市民税所得割額 313,000円以上世帯	0円	9,000円

問5.

所得の低い世帯への配慮について、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。（1つ選択）

- ☐ 1. 現状の減免のままで良い
- ☐ 2. 減免を行う必要はない
- ☐ 3. 減免するのは賛成だが、見直した方が良い

戻 る

次 へ

「学童保育クラブ育成料（利用料）」に関する市民意識調査

[57 % / 100%]

問5-1.

問5で「3」と回答した方にお伺いします。

どのような見直しが必要か、あなたの考えに当てはまるものはどれですか。（複数選択可）

■表2 世帯区分別の減免額一覧

減免区分	世帯区分	減免額	(参考) 育成料
—	減免申請なし	—	9,000円
区分1	市民税非課税世帯	9,000円	0円
区分2	市民税均等割のみ課税世帯及び 市民税所得割額48,600円未満世帯	6,000円	3,000円
区分3	市民税所得割額 48,600円以上60,000円未満世帯	3,000円	6,000円
区分4	市民税所得割額 60,000円以上162,000円未満世帯	2,000円	7,000円
区分5	市民税所得割額 162,000円以上313,000円未満世帯	1,000円	8,000円
区分6	市民税所得割額 313,000円以上世帯	0円	9,000円

- ☐ 今ある区分ごとに見直した方が良い
- ☐ 区分を増やしてもっと細かく設定した方が良い
- ☐ その他

戻 る

次 へ

「学童保育クラブ育成料（利用料）」に関する市民意識調査

[64 % / 100%]

同一世帯 2 人目以降（きょうだいと同時に入会する場合）の育成料（利用料）は、表 3 のとおり減免されています。

■表 3 世帯区分別の 2 人目以降の育成料一覧

減免区分	世帯区分	2 人目以降の 育成料	(参考) 1 人目の育成料
－	減免申請なし	9,000円	9,000円
区分1	市民税非課税世帯	0円	0円
区分2	市民税均等割のみ課税世帯及び 市民税所得割額48,600円未満世帯	1,500円	3,000円
区分3	市民税所得割額 48,600円以上60,000円未満世帯	3,000円	6,000円
区分4	市民税所得割額 60,000円以上162,000円未満世帯		7,000円
区分5	市民税所得割額 162,000円以上313,000円未満世帯		8,000円
区分6	市民税所得割額 313,000円以上世帯		9,000円

問6.

子どもの多い世帯への配慮について、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。（1つ選択）

- ☐ 1. 現状の減免のままで良い
- ☐ 2. 減免を行う必要はない
- ☐ 3. 減免するのは賛成だが、見直した方が良い

戻 る

次 へ

「学童保育クラブ育成料（利用料）」に関する市民意識調査

[71 % / 100%]

■表 3 世帯区分別の 2 人目以降の育成料一覧

減免区分	世帯区分	2 人目以降の 育成料	(参考) 1 人目の育成料
－	減免申請なし	9,000円	9,000円
区分1	市民税非課税世帯	0円	0円
区分2	市民税均等割のみ課税世帯及び 市民税所得割額48,600円未満世帯	1,500円	3,000円
区分3	市民税所得割額 48,600円以上60,000円未満世帯	3,000円	6,000円
区分4	市民税所得割額 60,000円以上162,000円未満世帯		7,000円
区分5	市民税所得割額 162,000円以上313,000円未満世帯		8,000円
区分6	市民税所得割額 313,000円以上世帯		9,000円

問6-1.

問 6 で「 3 」と回答した方にお伺いします。

どのような見直しが必要か、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。（1つ選択）

- ☐ 2人目以降の育成料（利用料）の負担をより少なくした方が良い
- ☐ 2人目以降の育成料（利用料）の負担をより多くした方が良い
- ☐ その他

戻 る

次 へ

「学童保育クラブ育成料（利用料）」に関する市民意識調査

【 78 % / 100% 】

問7.

児童の放課後の過ごし方を充実させるための施策として、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。（1つ選択）

- ☐ 学童保育クラブの施設の拡充（増設や受け入れ人数増など）
- ☐ 学童保育クラブ職員の資質向上
- ☐ 学童保育クラブのプログラムの充実（学習・遊び・交流）
- ☐ 特別保育（延長保育）の開始・終了時間の拡充
（現在の特別保育時間：8:00～8:29と18:01～19：00）
- ☐ 学童保育クラブ以外の放課後の居場所の拡充
（まちとも、子どもセンター、子どもクラブなど）
- ☐ 子どもの外遊びなどの機会の充実（冒険遊び場など屋外での活動）
- ☐ その他

戻 る

次 へ

「学童保育クラブ育成料（利用料）」に関する市民意識調査

【 85 % / 100% 】

問8.

最後に、町田市の学童保育クラブや放課後の過ごし方に関する支援施策へのご意見などがございましたら、ご自由にご記入ください。

戻 る

次 へ

「学童保育クラブ育成料（利用料）」に関する市民意識調査

【 92 % / 100% 】

次の「送信」ボタンをクリックすると、回答は終了となります。回答の変更はできませんのでご注意ください。

戻 る

送 信

ご回答ありがとうございました。

アンケートにご回答いただき誠にありがとうございました。

最後にこの画面を閉じてアンケートを終了してください。

今後ともよろしくお願いいたします。

学童保育クラブの
育成料（利用料）に関する意識調査
報告書

2024年10月発行

発行・編集：町田市子ども生活部子ども総務課

〒194-8520 町田市森野2-2-22

電 話 042-724-2876

FAX 050-3101-8377

刊行物番号：24-66
